二・三月號發賣禁止

無産階級戰闘雑誌

進め

第四年 ◆ 四月號 ◆ 第四號

一部十錢

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
毎月一回一日發行 大正十三年四月一日發行

社會主義を研究せんとする者は讀め！

◇祭壇の社會主義を葬れ（卷頭言）
砂塵濛々（時評）……同人
無産階級法律問答……布施辰治
◇イン・プレ・コ
農村運動の諸問題……山川亮
◇狂民堂漫筆
自由勞働と組合運動……加藤利藏
零の獲得……渡部信義
コップ大使 福田狂二 露國大使館の會見
智識階級と解放運動……松山政雄
勞働賃金に於ける階級闘爭……松里茂
◇進め社だより
全線飛報（全國同志通信）
ジミイ君の話（社會小説）……シンクレアー作 前田河廣一郎譯
◇暴壓一ッ
農村の疲弊と青年の使命……湯原彦三
貧乏の原因……リーフレット

社會主義に反對せんとする者は讀め！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室より

◇

春來れども天候春の如からず、陰鬱な空からは寒風が未だに吹く。無産階級に對する資本階級の暴壓は、昨年の如く今年も續く。吾等の進めもまた、彼等の兇手の犧牲となつて、二月號三月號は連續して發禁された。××××××××××××××××××××××『××××××××××××××××××」、。知らず吾等の進めは、何の爲めに斯く迄も苦心して出してゐるのであるか。若し進めを資本家擁護の爲めに出してゐるのだと思つてゐるのなら、其愚や正に古今の珍とするに足る。假令、十二ヶ月を通じて悉く進めを抹殺せんとも吾等の素志は鐵の如く堅く、吾等の闘志はその爲めに益々白熱化するばかりだ。來るなら來い、彼等に權力專制があれば吾等にも熱火をも踏み破らんとする正義の信念がある。全土十萬の吾が進めの同志諸君よ。吾等は諸君の聲援に送られて今後益々吾等の信念の爲めに建闘するであらう。

◇

春來れども花未だ開かず、寒風砂塵を吹いて凛々、然しながら吾等の胸中は、既に花の如くに燃えて、着々として計劃を進めてゐる。進めパンフレットは福田氏の『大衆と共に進め』を出すや、即日發禁の命令書は、吾社の編輯局に飛び込んだ。彼等は大衆に進まれることを、何よりも恐怖してゐると見える。然し諸君よ諸君は恐るゝ所なく、大衆と共に進め！

尚、引續き橋野昇氏の『唯物史觀略解』は既に社告の如く發賣されたが、四月十日前後には春田正氏著『近世社會主義史』が出る。尚四月中には前記福田氏の『大衆と共に進め』の改版と他に、進めパンフレットを三冊位出す計劃である。何れも著者が無産階級の爲めに、心血を注いだ苦心の作。其處らに賣つてゐる、外國の雜誌からの飜譯や受賣りでない所を買つて欲しいものだ。

四月號に『農村の疲弊と青年の使命』を寄稿された沼原彦三氏は、先月迄は農民組合山陰聯合會の主事として、その勇敢と智謀とを以て全山陰の解放戰を指導されてゐた闘士だが、今回大阪の農民組合本部に入られた。本月は記事の都合で該論文の最初の數十行しか、掲載するを得なかつたが、五月號には全部を紹介する積りである。實際の經驗が生んだ、氏の論議には吾々の大に傾聽すべきものがあると思ふから、諸君もその積りで讀んで頂き度い。

◇

石川準十郎氏の『社會主義講話』は氏が劇務の傍ら執筆されるもので、本月は遂にその爲めに締切の間に合はなかつた。そこで一回讀切の研究物を載せたが、石川氏の講話は五月號から引續き掲載される筈である。七月に完結の上は『進めパンフレット』として出版する。尚、布施辯護士の法律問答と前田河氏の『ジミイ君の話』も今後引續いて掲載して行くから期待して貰ひ度い。

メーデーは一ヶ月後に迫つた。五月號は全誌を擧げて、メーデー氣分を漲はす之れに關する寄稿を待つ。

進めパンフレット愈々出來

◇**大衆と共に進め**　福田狂二著　即日發賣禁止

◇**唯物史觀略解**　橋野昇述　一部拾錢　郵稅二錢

◇**近世社會主義史**　春田正著　一部二拾錢　郵稅二錢

以下毎月二冊宛發行の豫定

(多數又は團體注文は特に割引す)

全土に支局を募る

本誌發行部數十萬、無産階級雜誌として古今未曾有の事に屬す。されど戰線の擴大にこれを以つても尚及ばず、吾等は一人の讀者は一ヶの支局を作らん事を希望す。十萬の讀者皆是支局となるの時は、『進め』は一千萬部を超ゆるに到るべし。此秋則ち我無産階級勝利の日なる事を憶へ！　手續簡易簡易、支局係に即時申込まれたし。

マルクス肖像無代頒布

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

マルクスは科學的社會主義の分祖にして無産階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ、複寫して讀者に配布することゝした。三、四、五月中に誌代一ヶ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

四月五日發賣。至急申込あれ

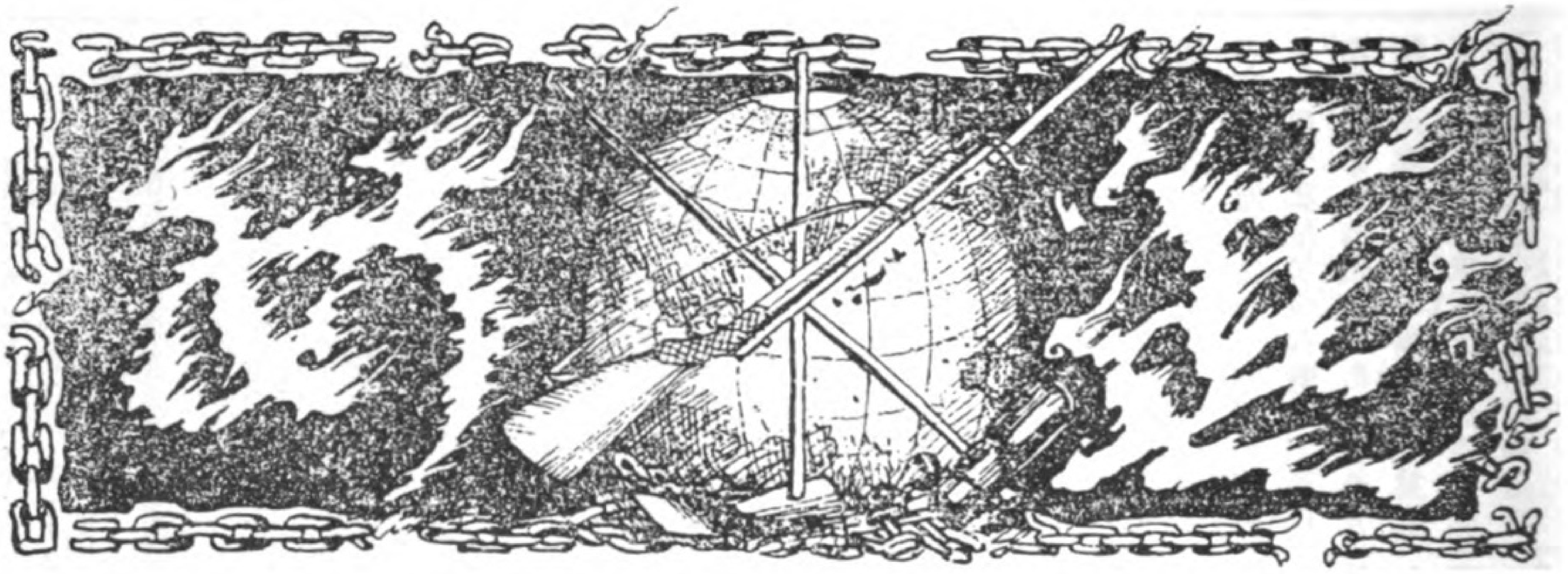
◇**マルクス寫眞集**　四六倍版アート紙美本　定價五十錢　送料四錢

マルクスの幼時より死に至る迄の寫眞十數葉を聚めたるものにして新思想家の座右に備ふべきは勿論我等の永久に記念すべき貴重なものである。

◇**社會思想家寫眞集**　四六倍版アート紙美本　定價五十錢　送料四錢

サンシモン、フエリー、オーエン、モリス、マルクス、バクーニン、エンゲレス、リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキー等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



大正十五年四月　戰鬪・進め・雜誌　第四年第四號

祭壇の社會主義を葬れ

――全國平民社會主義者に檄す――

『國民』の名に於て存在する陸軍の內部に、『國民』の膏血より成る尨大なる機密費を流用して私的權勢慾を逞しうする『閥』なる伏魔殿が存在した。彼等は維新政府この方多年『國民』の名に於て、それから『神聖なる陸軍』の名に於て、土に汗する平民『國民』の上に高く君臨した。彼等は『軍備』をば『國民』の名に於て高く祭壇の上に祭り上げ、神聖冒す可からざるものとした。この祭壇に向つて疑問の眼を向ける者は實に許す可からざる『非國民』であり、『不忠者』であり、『賣國奴』であつた。かくして彼等は永年この祭壇の蔭に私的權勢慾を擅にして來たのであつた。

けれ共こは必ずしも『國民』の名に於て存在する陸軍のみに限らない。今日『無産階級』の名に於てする日本無産階級運動の內部に尚これと同樣に、豐富な機密費を流用して私的權勢慾を逞しうする所謂『閥』なる伏魔殿が存在する。所謂『日本共産黨』がそれである。彼等は多年『日本無産階級』の名に於て、それから『神聖なる社會主義』の名に於て、土に汗する平民『無産階級』の上に高く君臨して來た。彼等は『マルキシズム』をば、『ロシア社會主義』をば、『無産階級』の名に於て高く祭壇の上に祭り上げ、神聖冒すべからざるものとしつゝある。そしてこの祭壇の前に跪伏せざる者は實に許すべからざる『日和見主義者』であり、『反動主義者』であり、『裏切者』である。日本無産階級は凡てこの祭壇の前に來り跪づかねばならない！　日本無産階級のためにこの祭壇が存在するのではなくして、この祭壇のために、否この祭壇の蔭にある者のために、日本無産階級が存在するのである！　かくして彼等はこの祭壇の蔭に未來の『日本共産黨政府』の役割を協議して居つた。

然るに今やこの『神聖なる』祭壇乃至伏魔殿は漸やくその根底より搖ぎ出した。被壓伏階級最終の武器たる『批評的精神』の陽が次第に昇つて來ると共に、『神聖なる』祭壇乃至伏魔殿は次第にその正體が明らかにされて來た。

全國平民社會主義者よ!!!　この『祭壇の社會主義』を葬れ。所謂『日本共産黨』及びその亞流共より成る日本無産階級運動の伏魔殿を一掃せよ。それは我等平民社會主義者の日本無産階級に對する任務であり、日本階級戰の血祭りである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

砂塵濛々

（同人評語）

角力・政治・花見

新聞に、「日比谷座」といふ活字を見る。所謂政治期といふ期節が在つて、其の頃になると、この活字を毎日のように見る。言ふ迄もなく、政治を芝居見物に見立てた語である。議會の亂闘を見聞する時、またまことに此の感に堪えない。わたしは此の言葉あるを當然とし、いつもながら同感するのである。それはそれとして、けれども、わたしは、此の言葉が皮肉として生れたに拘らず、そのまゝに硬化して皮肉ならざる一般語と化しつゝあるを看過出來ないのである。皮肉の硬化し通俗化して何等の刺戟をも與へなくなつた時、それは寧ろ厄介なる殘骸である。わたしは、政治を一場の芝居と見立てた事には痛快味を感じるが、「政治が芝居である」事に對して何等の抗議も憤激をも感じない國民に對してはまた實に不滿を禁じ得ないのである。政治が芝居であつてはならぬとの意見から出でたる嘲笑が、皮肉が、反語が、いつの間にか政治は芝居也との定説となつて日本國民の頭腦に納めらるゝの滑稽をわたしは目の當り見せつけられてゐるのである。わたしにはその事が堪らないのである。春相撲が終る頃、所謂政治期なるものが本舞台にかゝり、國民の眼は國技館より議會へと移る。移るはいゝが、その眼その考へ方に於いて、何等の變化はないのをわたしは歯痒く思ふのである。而して、政治期の終りを告ぐる頃、花開いて、國民の眼は、昨日の政治見物を、一昨日の角力見物をそのまゝに、花見へと移すのではないか。

政治は芝居乎。そうではない。現在はそうであるが、決してそうであつては、そうあらせてはならない。政治は國民の生活である。日本の政治は日本國民の生活を支配するのである。例へば、煙草の賣價を値上する事は政治であるが、値上されて高價の煙草を買はねばならぬ事は生活である。宜しからざる政治の下に、宜しき生活の斷じて有り得べからざるは、その故に自明の理でなければならぬ。

然らば、日本國民の現在の生活は劣惡でないか。國民擧つてその生活を樂しこしてゐるか。勞働者は、智識無產者は、その他日本國民の大部分は、その生活を讃美し享樂してゐるであらうか。言ふ迄もなく其の反對である。日本國民は現在、生活難の中に蠢動して居るのである。生活難に苦しみつゝ、かくあらしめつゝある政治に對しては全く盲目なのである。政治が芝居だと言へば、その皮肉すらも解し得ず、政治は芝居かなと感心するのである。芝居たらしむべからずとの抗議はないのである。今正に陽春四月、櫻花開くべし。日本國民は政治見物に疲れたる眼を轉じて、今や花見の用意をやりかけてゐる。議會傍聽券を握つた手に黄色の手拭を握り代へようとしてゐる。

第五十二議會の問題の思想的説明

ブルジョア資本主義社會は、いよ〳〵行詰りを生じたらしく思はれる。『政界泥仕合』と嘲笑せしめた、既成政黨の罪のあばき合ひは、吾々プロレタリアにとつては、誠に奇妙奇天烈な觀物である。彼等はプロレタリアの手を待たずして、彼等自ら今期議會に於て、自らの醜惡を天下公衆の前に曝して、ブルジョア階級の挽歌を搔いてゐる。

大阪松島遊廓の移轉問題に、某黨の代議士某は何萬圓の金を密かに懷中したと廣言すれば、

いやさう云ふ君の黨の幹部何某は、何十萬圓を遊廓移轉の運動費として貰つてると反駁し、間題は再轉して田中義一が政友會總裁となるに際して、持參金とした五十萬圓とかの金の出所のあばき合ひから、遂に田中が陸軍大臣として在官中に次官山梨其他等々の連中と共に、西伯利出征軍の機密費三百萬圓をどうしたか、と云ふ所まで發展して終つた。

吾々プロレタリアにとつては遊廓移轉の爲めに一國の選良とか名づけられたるブルジョアの代辯家が、誰から金を貰つてその金を如何に消費したとて、それは黃金と權勢に渇した彼等餓鬼達の仲間爭ひである。吾々の問題は其處にはない。憲、政、本黨共に吾々の階級外に屬する階級の政治的代表である。憲政會で金を取らうと、政友會が貰はうと乃至は政友本黨が、その運動費をせしめやうと、それは當然過ぎる程に當然だと、吾々には思へるからである。何故なら彼等既成ブルジョア政黨は、常に政治を道具にして金儲けをしてゐる所の、商賣人の組合に過ぎないと思ふからである。

また田中義一が陸軍大臣の地位を利用して、軍事費を私消したとしても、眞僞の程は知らず吾々にはこれも成程と首肯けるものがある。××××××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××××。その飼犬が日常主人が如何にズルク金儲けをしてゐるかを見聞させられてゐて、さう何時までも默つて指をくわえて主人の金儲けばかりを傍觀してゐる筈はない。これは心理學の説明に待つ迄もなく、自分も時には主人の如く金儲けを仕様と思ふのは、實に理の當然である。況んや田中の如き自分も何時かは主人(資本家)にならうと心懸けてゐる如き傑物に於ては、二百萬圓の軍事費を懷中する如きは、殆んど齒牙に懸くるにも價せざる、一小些事であつたかも知れないではないか。吾々の問題とする所は、此處にあるのではない。

然らば何が問題となり得るか。吾々は今議會のこの泥仕合ひを眺めて、この泥仕合ひの裏面に動き來れる氣運を看取し、その氣運が始めて吾々の問題となり得るのである。このブルジョア各政黨の醜惡なる喜劇は、既成社會の下層建築がすでに綏みはじめた事を意味する。既成社會の下層建築が今やそのネヂは綏みはじめ、齒車は時に停止し、調帶はともすると脫線しやうとする。この下層建築の現狀は直ちに上層建築たる政治に反影して、各政黨の名士連は無意識裡に、その傀儡となつて道化踊りを踊りつゝある。

歎きのピエロは知らずして、自らの墓穴を掘りつゝある。この墓穴の完成された時に、資本主義は否應なしに、その巨骸を自らこの墓穴に橫へるであらう。而してその機運は刻々に、吾々の前に近づきつゝある。これが今議會の政界泥仕合なる一篇の悲喜劇の中に含まれたる。思想的説明であり、『歷史の必然性』とペンネエムを持つ所の作者の意圖である。

吾等はこれを以て最後の純資本家議會への弔詞とする。

踏進精神の問題

共産黨派と反共産黨派

自稱『階級的立場を嚴守し』、盛んに『日和見主義だ』『反動主義だ』と調子に乘つて片腹痛い戲言呼ばり許りこれ事として居た所謂日本共産黨こと紳商共産黨派は、昨年末から今年にかけて次第に全國的に信望を失ひかけ到る所その勢力を驅逐されつゝある。日本に於ける共産黨派のこの全國的凋落は決して、日本が昨年末から今年にかけて急速に彼等の所謂『反動期』に入つた爲でもなく、又彼等の『豊富な資金』が盡きた爲でもなく、更に又彼等の『無產政黨加入』が不可能となつたが爲でもない。それは實に、所謂日本共産黨派なる集團乃至運動は決して實在する日本無產階級の眞實の欲求の上に即して居るものでないことが、換言すれば日本共産黨派なる集團乃至運動なるものは既に日本無產階級に對してその職能を失ひかけて居ることが、內

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

部的に認識され經驗されて來たからである。而してこの事實は決して『支配階級的の逆宣傳』とか『裏切者』とか云ふ様な彼等得意の同志を陷れる常套語で胡魔化されるものでもなく、又『政治研究會の出直し』や『評議會の擴大委員會に於ける現實主義化の宣明』で差引勘定になるものでもない。それは實にその根底に横はる踏進精神の問題に關はつて居るのである。

共産黨派と反共黨派との根本的相違點はその相反する踏進精神にある。第一に共産黨の諸君は、由來批評的精神をば全然沒却し、マルキシズムのロシア共産黨的解釋を無批評的に追隨謳歌し、ロシア社會主義の段取をそのまゝ直譯的にモスコーの指命乃至援助に依つて日本に展開せんとする。而してこれに對して一言でも批評の口を挾むものは『日和見主義者』であり『反動主義者』であり『裏切者』である。然るに反共産黨派は、マルキシズムをば必ずしも西歐の黨派に依つて採らないと共に批評的精神に基づいて發展せしめることに努め、日本には日本の實情に即した社會主義を展開せしめんとする。そしてかうした行き方の上にこそ眞の國際社會主義の可能を見る。第二に共産黨の諸君は、『無産階級的解放』の名に於て實は自分達の閥を本位とした利用、中傷、攪亂、驕傲等の反社會的反無産階級的態度を殆んど傳統的にこれ事とし且それを當然とする。彼等の乘取りも分裂も合同も皆自己を本位とした政策に過ぎない。都合の宜い時には乘取り分裂を策し、都合の惡い時には合同を策す。蓋し日本無産階級に對する『彼等の指導權は神聖な私有財産である』のだ（山川均氏の言ひ方に依る）。而してこの傳統的『神聖な私有財産』を失はざらんが爲には、社會道德も階級道德も『笑止千萬である』（雜誌『マルクス主義』）のだ。然るに反共産黨派は、斯の如き私閥本位を絕對に排し、社會道德乃至階級道德の存立を信じ且つ强調する。而して斯の如き進み方の上にこそ、眞に根强い解放戰の發達の可能を信ずるのである。されば兩者はその根本に於て相反するものを有して居るのである。

若しも敢へてマルキシズム的にその根本を爭ふならば、（一）マルキシズムの中に相對的に流れて居る見方乃至思想を窮根のものとして採るか、それともマルキシズムの基底に絕對的に流れて居る批評的精神を窮極のものとして採るかにあり、（二）マルキシズムの中に矛盾した形態に於て現はれて居る道德否定の言葉を採るか、それともマルクス・エンゲルスをして階級戰の中に動かしたそして斯の如き言を言はしめた背後のものたる一種の正義感を認むるか即ち道德肯定の見解を採るかにある。

今日何が片腹痛いと云つても反共産黨の勃興を目して『理論が無い云々』と云ふ程片腹痛いものはない（どんな人間が言つてるのかと思つたら、四十面下げて漸やくマルキシズムのイロハを知つた樣な人間が云々して居るとは、さてもすさまじいものだ）。彼等の域に安住して『ブルジョア・イデオロギー』許り連發して居られるなら苦勞は無い。一種の社會的無産階級的必要乃至社會的無産階級的良心が彼等の域に止まつて居ることを許さない所に、反共産黨派の苦悶があり生命があり前途があるのだ。

古くして廢れたるものを葬れ。

農民よ警戒せよ

農民組合の大會は去る九、十、十一日の三日間に亘つて京都に於いて開かれた。が我々は從來農民組合内に於いて萌芽しつゝあつた思想的分裂の重大なる禍根が益々擴大されんとしつゝあるの現象を今回の大會に依つてより深刻に見せられた。

嘗つては工業勞働團體を攪亂し、一齊に指彈の刄を放たれた共産黨は今亦、其の魔手を農民組合に及ぼさんとしつゝある。我々は全國拾萬の組合員は此の共産黨侵入の禍根を速かに切斷するであらうか、又は萌芽せしむるであらうかに對し、絕えず批判の眼を怠らぬであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級法律問答

布施辰治

檢束について

（問）巡査及巡査部長は司法警察官にあらず、人民を檢束する權能なし、若し、權能なき者が檢束せんとした場合之れを拒絶して可なりや。

一

（答）今日の社會運動者、勞働運動者に最も不快な、イヤガラセを惱ましめるものは檢束である、その理由の不可解なる點に於てその執行の無造作にして且つ頻々たる點に於て、檢束位今日の社會運動者勞働運動者に對するウルサイ壓迫はない、之れを統計的に云へば一年の檢束件數は優に百萬を超えるであらう。

社會運動者、勞働運動者として第一線に立つ者が、どの位あるか判らないが、假りに組織勞働者が、二十萬だとして檢束件數の統計は、その五倍にも達するのだから、驚かざるを得まい。

之に依つて之れを察する、檢束の社會運動者、勞働運動者、に對する、ウルサイ壓迫の脅威は、蓋し、思ひ中ばに過ぐるものがあらう。質問者の意思は、斯うした檢束の社會運動者、勞働運動者を、脅威する壓迫を退いて遁れるか、進んで、突破するかの方法を究めんとするにあるのであらう、私も質問者と、其の意見を同じふするので、最も、愼重に此の問題を考察して見たい。

二

凡そ我國現行の、社會運動勞働運動を、壓迫する惡法の數は多い、彼の世界的惡法治安維持法の如きは、其の最も社會運動勞働運動を脅威するものではあるが、行政執行法の檢束のよふに、ウルサクは無い、又假りに萬一の適用に引掛けられても、對抗甲斐がある。所が、最もウルサクて、ザラの適用に引き掛けられても、對抗甲斐の無い、不快なイヤガラセに惱ましめらるゝ惡法は、行政執行法である然かも、左樣した惡法行政執行法中でも、一番惡い規定は、檢束である、行政執行法、現在の適用は即ち檢束法であつて、檢束法即人權蹂躙法だと、云つて良い。

斯うした人權蹂躙法は即刻、之れを廢止するか、無産階級議會の出來るまでは、到底之れを廢止する事が出來ないとしたら、之れを廢止する迄、どうにかして　退いて遁がれるか？進んで突破するか？する方法を考へなければならない、其處で。

三

質問者の云ふが如く、檢束が司法警察事務として行はるゝものだとなれば、其の檢束は當然司法警察官でなければ出來ない事になる、と同時に司法警察官にあらざる、平巡査の檢束は違法だ、と云ふ事になる、そして檢束者の違法檢束は、眞に、被檢束者の、生命財産を脅威する事甚だしい。

從つて之れに對する正當防衛

カルピス會社職工の戰跡

日頃自稱大家族主義を標傍してゐるカルピス會社に突然階級鬪爭の序幕は切つて落された。

カルピスの專横家三島專務の言ふところの大家族主義とは年に貳回各職工へ賞與金を一ヶ月内外を與へ居るに依つて他會社よりも優遇してゐる點であつた。然し年に十割乃至二十割からの配當してゐる會社にとつては當然の事で日給一圓二十錢では賞與金が一寸長くとも通算して他工場よりも安く、とても食へる程度のものでなかつた、職工、一同遂に食つて行かれなくなり飲料水工場では資本家と對抗するには不利な時期ではあつたが去る二月下旬職工一同は結束して日給三十錢増給但退職及解雇手當等要求せるもむしろこれは條文無き方有利なるを要求し一週間以内に確答を迫つた。

會社は職工の結束が堅きを知つて初めて協調會館及び幾多の工場の賃銀を問合せ事實他工場に比して賃銀の低いのを知り、能くさぼらす三島海雲は職工の幹部を集めて曰く『君達の要求は天の聲だと思つてゐる、君達が困れば自分の洋服を質ぐさに入れても何んとかする積りだから今後もかような場合には何も連判状なぞを作らなくとも一人か二人で話して貰ひたい。附いては要求の中額十五錢を増給するから』と、幹部一同にこれを計るも不服のため先きの要求を請願したるに專務の曰く『それ以上取れる工場があるなら他の工場へ行け』と全く一瞬にして手の平を返すごとき暴言に職工一同の憤怒

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論が、なり立たない事がない、そして一旦正當防衛論が、なり立てば、平巡査の違法檢束に依りて脅威せらるゝ、被檢束者の生命身體を防衛する爲め、止むを得ざる殺傷も、亦無罰なりと云ふ事になるであらう。

それは無權力者から生命身體財産に對する危險を脅威せらるゝよりも、權力者から生命財産の危險を、脅威せらるゝ事が、一層危險だからである。現に刑法では、同じ暴行でも、無權力者間の暴行は、其の二百〇八條で、被暴行者からの告訴が無ければ罰するとしても、懲役、罰金、いづれでも良いと云ふ事になつて居るが、權力者の暴行は傷害の結果を生じない場合でも刑法百九十五條で、之れを懲役にすると規定して居るのでも判る位い權力者の違法不當檢束は最も恐ろしい、被檢束者に對する脅威である、故に刑法三十六條の「急迫不正の侵害に對し自己、又は、他人の權利」即權利中の權利たる、生命身體、若くは團體旗、組合旗等に對する防衛の爲め「止む事を得ざる」對抗行爲は「之を罰せず」の無罪である、又三十七條にも「自己又は他人の生命身體自由若くは財産に對する現在の危難を退くる爲め止む事を得ざるに出でたる行爲は、其の行爲より生じたる害、其避けんとしたる害を超えざる程度に限り、之れを罰せず」とあるから、若しも檢束が。司法警察行爲であつたら、司法警察官にあらざる、平巡査の檢束は、當然の違法で、又當然の、不正侵害となり、又、更らに、被檢束者當然の正當防衛權を行使しても、良い事になる。

四

此の平巡査が、司法警察官にあらずと云ふ事は、舊刑訴、第四七條に警部補迄が、司法警察官だとあり、新刑訴第二四九條で、巡査、憲兵は司法警察官にあらずして、司法警察吏だといふ事に爲つて居る點から見ても又、從來の判例に於て、平巡査は、司法警察官にあらず、といふ事になつて居るのだから、質問者の云ふが如く、謂ふ所の檢束にして、司法警察事務でさへあつて、所謂司法警察官に非らざる平巡査が之を執行する事能はずと云ふ事になれば、平巡査の違法越權檢束に對する被檢束者の正當防衛權は、其の檢束振りの危險を條件として、立派に成立する。

けれども遺憾ながら飽くまで陰險な行政執行法の檢束は、司法警察行爲になつて居ない、そこは現在立法の最も陰險な所である、行政執行法、第一條は冒頭から「當該行政官廳は」と書いてあるから、どうしても行政警察行爲だと見るより外はない。從つて行政警察官と司法警察官の區別を本質的に立てゝ居ない、現在の警察制度から云へば平巡査の檢束も亦違法ではないと同時に、平巡査の檢束が違法檢束だと云ふて直ちに正當防衛權を行使する譯には行かない

五

がしかしながら、檢束の目的は救護にあつて懲罰に存しない現に、同第一條には

「當該行政官廳ハ泥醉者、瘋癲者自殺ヲ企ツル者其ノ他救援ヲ要スト認ムル者ニ對シ必要ナル檢束ヲ加ヘ戎器、兇器其ノ他危險ノ虞アル物件ノ假領

その極に達し直ちに仕事は中止され氣勢を揚げ今後の方針に對策をこらし、最後の望みを社長に掛け幹部は遂に社長の自宅を訪問し、要求書をさし出し二三日中に確答するを約した。

翌日幹部の一人たる熱血兒高橋某の自宅に職工一同對策を議し居ろうち會社の十五六名 その中の高山某は專務の紹介に依るボイラー掛りにして以前は或る勞働組合の幹部をせしことありと自稱してゐるものにて、前日までは直接行動を主張して曰く『要求するものは何物も與へられず强請するものは少しか與へられず無暴をやるものは總べてを與へらる』と云ひ私達はこんな會社は斷然辭して他の某會社へ行きますからとの挨拶であつたこれは職工中の硬派を解雇せんためのカラクリであることはわかりきつたことであつた。

その日社長自ら出馬し全社員の非常召集を行ひ官憲警戒中に職工側幹部と會見を申込み二十錢増給を申込めり。そこで職工一同と野田醸造堀城某と協議の結果。會社の作戰の裏をかくための全力を十二分に示して一先づ會社の修正案を承認し この事件の結末をつけた。

その日より即ち三月一日よりカルピス職工一同の胸間に總同盟の組合マークは燦爛として輝いた。

昨日まで高慢無智の工場係共は一變して靑菜に鹽顔となり職工の意氣正に天をつくの感あり筆者はカルピス會社の序幕戰に於て團結の威力は資本家の金力を壓し勞働者の作戰は資本家の姑息陰險の手段に及ばざること遠きを見、全國の勞働者と共にこの喜びを共にせんために一文を寄す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

置ヲ爲スコトヲ得暴行、鬪爭其ノ他公安ヲ害スルノ虞アル者ニ對シ之ヲ豫防スル爲必要ナルトキ亦同シ」

とあるのだから、苟も被檢束者の救護を圖らない檢束は、當然の不當檢束になるのであつて、彼の打つたり蹴つたりする檢束の不當たる事は素より云ふまでも無い。更らに其の第二條には

「當該行政官廳ハ日出前、日沒後ニ於テハ生命身體又ハ財產ニ對シ危害切迫セリト認ムルトキ又ハ博奕、密淫賣ノ行アリト認ムルトキニ非サレバ現居住者ノ意ニ反シテ邸宅ニ入ルコトヲ得ス但シ旅店、割烹店其ノ他夜間ト雖衆人ノ出入スル場合ニ於テ其ノ公開時間內ハ此ノ限ニ在ラス」

とあるから、家に寢て居るものを引き摺つて行く檢束も亦明白な不當檢束である、そして之等の不當檢束は常に職權濫用の瀆職を伴ふものである、刑法第百九十四條は

「裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」

と規定して權力者の違法を禁戒して居る。故に、平巡査が檢束を以て直ちに違法なりとする不當防衛權を行使する事は出來ないが、其の檢束方が、苟も不當にして行政救護檢束の本旨に背戾し、其の程度が、被檢束者の生命身體財產等に對する危險を脅威する場合には、當然正當防衛權がなり立つ、と信ずる、夫れは、恰かも正當なる公務の執行に對する妨害が公務員の生命身體に危險を感じた際の拔劍を許さるゝのと、同一法理である、

以上、私は法解問答として、違法不當の檢束が、被檢束者の生命身體財產に對する急迫不正な侵害を感せしめた時の正當防衛權に就て、論じたのであるがそれは、理論上の問題であつて事實上、どの程度の違法不當凌虐の檢束に、被檢束者の不當防衛權がなり立つかは、其の時々の事實問題である事を注意して貰ひ度い。其の參考として、曩きに社會運動者の反動運動者に對する正當防衛論を法解問答に書いた事があるから、夫れを合せ讀んで貰ひ度い。

古いノートから

カズヨシ

旅が行く
眞赤な心
民衆の希望に燃えし瞳輝く

◇

痩せしほう
痩せし腕にてさゝえつゝ
餓ゑたる我を悲しと思ふ

◇

病む床に
餓ゑを忘れて××の事を思へり
強き風の夜

◇

××の
赤き血潮は胸に燃ゆ
やがて流るゝ時もあるなり

◇

幸福の夢を求めて
幸福の夢に生くるを
幸福といふか

◇

嫁とりなば產兒制限するといふ
友なりしかな
失戀に泣く

◇

戀をすて
唯一條に××の道へ行かんと
友は語れり

◇

××の記念の日なり
桜の花
手折りて机かざりけるかな

◇

××の擲にかゝりたりといふ
男ありけり
初夏の頃

◇

××の話に
夜をば更かしたる
彼の友の名は梅雄といへり

◇

搾られて平たくなつた[illegible]
その姿を食ふ
無產階級

◇

一切の魚を仲よくつゝき合ふ
姉弟のあり
貧しい食卓

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

狂民堂漫筆

墮氣の先達

■佐野某入獄の際、其の左右に言つて曰く『暖かくなつたから入る』と。此の一言實によく日本共產黨氣質を表白す、由來革命兒の獄に下るや、鼎鑊甘き事飴の如しとなしき。言、狂に似たりと雖も其の壯烈の意氣は以つて百千靑年を感奮興起せしむるに足るべし。噫、明治回天の圖正氣の歌の在り、以つて志士が壯心を激勵せしめしが、今日プロレタリヤの業、日本共產黨の在り、以つて鬪士が墮氣に先達する也。

第二葦原將軍

■共產黨は初め堺枯川を以つて起り、芋の子の如き黨員まで盡く勞農日本の大臣を夢む。今にして之を見れば其の稚氣噴飯に價するも當時の新聞、報じて第三の大逆事件となせり。然り而して、大臣の夢の未だ覺めざる者、其の名を德田球一と云ふ。德田球一は辯護士也。然も其の鼻柱の強きこと耶馬溪の猪も三舍を避くべし。加之、人格の下等なるを加味し、益々共產黨挑へ向きの男とはなれり。されば、同志間、彼を呼ぶに『三等特急』のアダ名を以つてし、殆ど輕蔑男の代名詞となると雖も、本人は得々然として勞働組合評議會の總指揮官を自任す。誰れか此の男に「東洋のレーニン」の尊稱を奉つて第二の葦原將軍たらしめんとする者はなきか。

日本新聞と無產者新聞

■日本新聞の資金は田中義一の懷中より出づるは世人の知る處也また其の懷中の日本國庫と相通ずるは疑ふの餘地なかるべし田中義一の懷刀に小泉策太郎あり。然り而して小泉の無二の親友に堺利彥あり。更に然り而して堺の配下に無產者新聞あり日本紙は國家主義、無產紙は社會主義表面仇敵の如くにして裏面に此の邃道あり。世は樣々とは此の如きをいふもの乎。

腐儒橫行

■多く讀むを可とし、魂の空なる者あり。『人間の腦髓に入れる智識に程度あり』と生理學者は云ひ、『本を讀み過ぎて卑怯になる』の語もあり、腐儒なる言葉は侮蔑の語として用ひられる。これ等の語、特に今日の社會主義學者に於いて其の突く所、切なるを感ぜずんばあるべからず。レーニズムとマルキシズムの混同、頻繁なる方向轉換、本書き飜譯小僧の跳梁等、比々皆然らざるはなし。咄々智識食傷の徒！

政黨遂に生まる

■新政黨生まる、無產黨は成る吾人は其の生まれたるを喜ぶ、而して其の形貌を見て悲む。其の綱領の何ぞ朦朧たるや。其の主張の何ぞ既成黨に近き。これをしも無產者黨と名付くんば政友も憲政も亦無產黨ならずや。噫！日本には遂に斯くの如き不徹底なる無產黨生まれ出でざるべからざるか。

無產首領

■勞働農民黨首領に杉山君推さる。氏は賀川の流れ、蓋し適任ならん。されど無產者黨には首領たるべき人甚だ多し矣。幾十年來惡戰苦鬪しつゝある者あり眞個の無產黨生まるゝの曉には即ち是等の人より求めざるべからず。無產黨首領は先づ思想なかるべからず、貫目なからざるべからず、重みなからざるべからず、品性高からざるべからず、而して始めて無產階級を率ふるに足る。

咄！痴漢

■近時勞働組合、農民組合等雨後の筍の如く生まる。而して自ら大衆の結團なりと稱す。雖然吾人は之れをストライキマンとするのみ。組合主義者と爲す而己。何ぞ回天の業を語るに足らんや。

此徒跋扈跳梁し、勞働運動を破壞し、社會運動を傷つけ、無產黨を冒瀆し去る。汝ニセ者！ヨタ者！去れ。去らずんば吾れ汝を大衆と共に倒さん而已。汝過去に爲し亦現在企てあるは皆是れ大衆を裏切り、組合を售るものに非らずや。咄！痴漢よ去れ。

× × × × ×

農村運動への諸問題（二）

山川亮

（一）農民組合への組織

農民運動は農民自身の日常生活の上での出來事を、直ちに政治問題化し經濟問題化して、常に農村に於ける資本と勞働とが相對立してゐる事實を、明確に農村プロレタリアに敎ゆるにある。そして團結することに依りて、搾取の爲めに貧窮に陷れる小作人達が、その貧乏から解放されることを指示するにある。我國の小作料は物納であつて金納でないが故に、地主が如何に小作人達から搾取をほしいまゝにしてゐるかと云ふ事實は、工場に於ける勞働者よりも、より明かに指摘し得られる。これを指摘して地主の搾取に對して、その不當を鳴らして對抗し得て勝利を得るの道は、即ち農民組合の組織である。農民組合の目的は農村プロレタリアの解放であつて、農民自身の生活の向上や權利の主張即ち小作人の減額運動や、農村自治機關の占有やは、この目的の爲への手段である。

階級階放戰としての農民運動は、全プロレタリア大衆運動の一分野、否我國に於てはその主要なる部署を占めるであらう所のものである。故にこれは單に農村プロレタリアのみの運動であつてはならないことは、前號に一寸言つた通りである。それは都市勞働者運動と密接に聯携して行く可きものである。

農民組合は階級鬪爭に基礎を置く。然し玆に階級鬪爭としての農民運動にとつて、都會の勞働運動とは違つて、一つの困難が生ずる。それは都會に於けるが如くに、階級分裂の狀態が農村に於ては明確でないことである。即ち都會に於ける商工業のブルジョア（資本家階級）階級と小ブルジョアやプロレタリア階級の如くに、その區別が明かでないことである。農村に於ける富農階級（大地主）と中農階級（小地主）とは、都會に於ける商工業ブルジョアに當り、小農（自作兼小作）階級は小ブルジョアに、而して貧農階級は都會に於けるプロレタリア階級に當るものと見做す可きであらうが、その中農と小農階級の區別の如きは、頗る不明確である。前號にも述べた如く、富農階級は明かに農村プロレタリア運動の正面の敵であつて、如何なる時と場所とを問はず純然たるプロレタリアの搾取階級である。然しながら小農階級（即ち自作兼小作、我國に於ける農民の大部分を占める）は明かに經濟的にはプロレタリアであるにも拘らず、その意識に於ては多く中農階級と同じき小ブルジョア階級意識の所持者である。即ち小ブルジョアとプロレタリアとの兩階級に二足を踏み込んでゐる。我國の如くに自作兼小作の小農階級者の多い農村では、この小農階級から小ブルジョア意識を追ひ出すことに、充分の注意を向けなければならぬ。

やゝもすると日和見的になりたがる小農階級と中農階級とを農村プロレタリア運動に引込むこと、換言すると富農階級の搾取に對して、貧農階級と同じく被搾取階級の地位にある、之等の小中農階級者をして、階級鬪爭としての農民運動に參加せしめるやう努力と注意とを向けなければならぬ。

（二）農民の土地私有慾

土地は農業上の生産機關であるが、この土地と云ふ生産機關は都會に於ける商工業の生産機關とは違つて、自由に分割し得られる。其處に都市勞働階級者とは違つて、農民の間に土地私有慾の濃厚な所以である。即ち工業勞働者が、工業上の生産機關を所有し得ることは、殆んど絕對に不可能であるに反して、農業勞働者は金を溜めて、その金額に應じて土地所有者たらんと思へば、その實現は可能なのである。これが原因して農民の間には、土地私有の觀念は深く刻み込まれてゐる。

社會主義的農業組織への進化は、この農民の土地私有慾の爲めに、その進化發展を可成りに阻害される。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

實際に於ては小農が中農になり、中農が富農になる例は、殆んどなくて、その反對に富農の爲めに搾取されて中小農が續々として貧農化して行く現狀であるにも拘らず、この土地分割性の爲めに、農民はまだその夢を完全に棄てきることが出來ないこの土地分割性と中小農の夢とを利用して、資本家政府は今や自作農設定と云ふ社會政策を施設して、農村に於ける階級意識を鈍らし、中小農のプロレタリア解放運動に參加せんとする防止策としやうとしてゐる。然しながら事實は益々農村靑年の離村と農村生活の荒廢とを示してゐる。

商工業に於てはその資本主義化は迅速であり統一的である。大資本が小資本を併合し、大企業が小企業を沒落せしめることは、頗る容易であり單純であるが、農業に於ては其事は容易でなく、種々なる農業經營の形態が、復雜に同時に存在することが出來る。

我國の如くにまだ封建時代の制度に因る農業生産形態もあれば(主として內地の農民)同時に封建制度と資本主義制度との混合して、二重に搾取せられてゐる農業生産形態もある(朝鮮農民は其例)。封建的制度の下に於ける農民は地主に搾取せられるのであるが、封建的からと資本主義的からと二重搾取に會ふ農民は、即ち一方舊地主階級の搾取に會ひ同時に殖民地母國の帝國主義的搾取にも當面しなければならぬ。即ち朝鮮の如きはその爲めに農民悉く貧農階級に沒落してゐる。

斯の如く工業商業に於ける如く、資本主義化は迅速且つ統一的であり得ない所から、農村の社會主義化は、都市に於けるが如くに飛躍的でなく、その機械化は遲々として進まない。この機械化の進まないのと、土地分割性とが相俟つて、農民の社會主義への理解を困難ならしめる原因である。

然らば農民をして、如何にして社會主義思想に理解を持たしめ、社會主義的農業組織に興味を持たさす可きかと云ふ問題が必然茲に提起される譯であるがそれに就ては先づ第一に必要な智識は、何故に農村が斯くの如くに荒廢して行かねばならぬかまた農村の貧農階級者の數が益々增加し、一度貧農階級に陷沒した者は、如何に努力し勤勉するも子々孫々を通じて、永久に浮び上ることが出來ないかと云ふ事實に對する經濟的立場からの究明である。そしてその究明された結果、現代社會組織のからくりが如何なるものであるかを知ることである。而してその「からくり」を究めたならば、その「からくり」を如何に改造することに依つて、農民階級――と云ふよりも廣くプロレタリア大衆が、この貧乏から救はれるかを知ることである。農民組合はあらゆる場合を通じて、一般未組織の農村プロレタリアに對してこの事を行動的に敎へて行く事が必要である。

農民組合それ自身は社會主義的であらねばならぬ―社會主義的立場から此の資本主義の「からくり」を農民の頭惱に徹底的に知らしめねばならぬ。

(三) 結論

資本主義は其の當然の歸結として、人類が生産機關所有者群とその非所有群との二大群に分れなければならぬ事を、實際の上で吾々に敎へてくれた。そしてこの二つの階級は相對峙して爭鬪しなければならぬ事をも强いて來た。今も尙ほ强ひつゝある。これは人間の意志に因るものではなくて、不可抗的な資本主義の運命である。階級鬪爭は人間が生きてこの資本主義社會にある限りは、三度の食事の如くに必然的なものである。

資本主義のからくりが、如何に巧みに農村の搾取事實を陰蔽しやうと努力しても、其の饒舌の後から、農民の貧農化と云ふ事實となつて、續々と資本主義からくりの欺瞞を暴露して行くのである。

この事實を捉えて階級分裂の原因と階級搾取の微妙な方法を說明し、それ故に階級對立は否應なしの實際であり、階級鬪爭に因るより他には、農村プロレタリア解放の道はなく、それには强盛なる階級意識に基いての階級的團結即ち農民組合に依る政治的經濟的の鬪爭運動より他にはない事を、農民自身が充分に知ることである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

都會に於ける「自由勞働」と組合運動（一）

加藤利藏

「自由勞働」者の三類別

(1)

自由勞働者と自由勞働者を雇用する傭主との關係は、工場勞働者と工場主との關係の場合に於けるやうな成文律に據る雇傭契約と言ふものがなく、不文律の關係下に雇用被雇が自由契約されるのである。

此の不文律の契約裡に被雇使傭の關係を結ぶ、現行請負制度下の「自由勞働」者を、傭者被傭者の雇傭關係の上から觀て、大體左の三者に類別する事が出來る。

（甲）

雇ふ者と雇はれる者とに任意撰擇による合意によつて暫定的な雇傭關係を結ぶ者

大工、左官、植木職、木挽職、鳶職、曳屋、ペンキ職、石工、屋根職、煉瓦職(積方)製造工、鐵筋コンクリート各職人の手傳人夫。

電燈、軌道、水道、測量、通信、道路、衛生各工夫の手傳人夫及傭夫。

土工、魚河岸並に靑物市場のカルコ、立ん棒、沖仲仕、車力の一部。

（乙）

日常傭主若くは中間搾取者(人夫屋)の經營する宿舍、權藏部屋等に寄寓して略々工場勞働者の對傭主關係に似た境遇に在る者。

甲の部に屬するカルコ、立ちん棒及車力、土工の一部を除く以外、甲の部と同一勞働に從事する者、及牛乳、新聞の配達夫、工場、礦山の雜役夫、飮食店の出前持ち、湯屋の三助、カフエーの女給、其の他一般商店の配達人。

（丙）

全然任意の勞働に依つて生活する者。

行商及露店商人の一部、屑屋、下駄の齒入れ屋、掃除屋、賣卜者。

以上

そして右三者の何れの部が一番に失業者を多く出して居るか以下少しく三者の失業比較と、其の原因とを檢討して見る。

(2)

既述したる、甲の部に屬する自由勞働者と傭主との關係が、双方の撰擇任意の合意によつて結ばれてゐるので有る——と言つた其の任意撰擇に依る合意と言ふは、双方共それ〴〵の希望要求を提出して、協定的な中和點に雇傭契約を結成すると云ふのではなく「時」と「場所」との變移に連れて生ずる、極部分的な特殊の場合を除く以外、總ての場合、雇傭條件の九分通り迄では、雇主側に有利に都合良く優越されて居り、其の雇主側に頗る都合の宜い、彼等同志で勝手にきめた、勞働者に與へるところ極めて薄い、雇傭條件に屈從するか否かゞ、將に雇はれんとする勞働者の意志の自由に委ねられて居ると云ふ丈けの事で有り、斯うした狀態の下に在る日傭若くは月傭勞働者に冠するに「自由勞働」の名詞を以てしてあるのである。

そして勞働者が將に雇はれんとする際、雇主の態度に不滿の點が有り且僅に殘されたる一分の希望、要求も到底容れらるべくもないと云ふ明瞭なる事實の前に立つたとき、一般自由勞働者はどう云ふ態度に出て居るか

此の問題は「時」と「場所」との變動に連れて生ずる部分的な勞働現象と、起工事業の過不足に原因して生ずる一般勞働狀勢と當該勞働者個人の自覺の有無、意志の强弱、性格の相異等に密接の關係を結んで種々の態樣に分たれて來る。

「時」と「場所」との變動に連れ若くは起工事業の過不足に原因して、勞働の需要が供給勞働を超ゆる場合も有り、需要と供給とが較均等なる場合も有り、供給過剩の甚しいときも有る。

右の三者の場合、需要が供給を超加せる勞働狀勢の時こそ勞働者にとつて最も有利な强味の有るときで、勞働者の要求の大半押し通せる時で有り、需要と供給とが較均等なる狀態のとき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

には、勞働者個人の自覺の有無或は要求支持の意志の硬軟、雇主撰擇に關する觀察力の深淺に由る立ち廻り方の巧拙、遲鈍さによつて、比較的高率の賃銀をせしめる者も有り、普通の賃銀を得る者もあり、低廉な賃銀を支給されて過度の勞働に從事せしめられる者もある。

一言此處に述べ度い事は、都會に於ける勞働請負制度の下に勞働者が實際に雇はれる迄には、企業者から請負業者に、請負業者から人夫屋へと來る者と企業者から人夫屋へと來る者と企業者から直接勞働者へ來る者との三種の中の何れかを經るものであるが、右三種の雇傭契約形態も、起工事業の大、中、小に基いて分たれて居る場合が多い。

前項需要と供給が較均等なる狀態の下に在るときに——の個所に「普通賃銀」と云ふ事を記したが、謂ふ所の普通賃銀なるものは、請負業者が自己の勞働者より搾取する暴利のみを考慮して、彼等同志で勝手に宜い加減に協制した支給勞銀一人一日幾何の金額が、順序として先づそれ等請負業者の配下に屬する下請負業者の手中に渡り、更に其の下請負業者が一人に對する幾割かの口錢を掠めたり、更に又人夫屋の手に移し、甲の人夫屋がまた乙の人夫屋に、乙より丙へと三人も四人もの手を經て實際に勞働者の手に渡る迄には其の間、手數料若くは口錢と稱して三割內至五割方の棒先きを切られて仕舞い、此の散々に中間搾取をやられた殘餘の金額が勞働市場の通り相場になつてゐるところの所謂一人一日幾何の「出面」と云ふのである。

そして企業者が直接勞働者を雇用した際、支拂ふ賃銀の最高限度もこの通り相場の出面を標準としてあつて、この標準額を超ゆる場合が殆んどない。

但、仕事の種類若くは勞働時間の長短によつて、此の出面の額面に多少高低の存する事は無論である。

前に戻つて供給勞働過剩の甚しい狀態のときは、勞働側の弱身に付け込む暴慢刻薄な下請負人夫屋達が思ふさま中間搾取の毒手を逞しふして勞働者の生活を最も慘憺たらしめるときで、就中、甲の部に屬する勞働者の如きは極度に其の生活を窮迫せしめられてゐる。

然乍、乙の部に屬する勞働者は、斯うした勞働狀態の霜枯れ時に遭遇しても、甲の部に屬する人々の失業者數に比較すると、懸隔の甚しい寡少な失業率を數の上に現はしてゐる。

右に述べた甲乙兩者の間を區切る失業者數の甚しい懸隔も、其の因つて來たるところに頗る複雜なる原因が潜んでゐる。

それが主要の原因とも見るべきものを以下少摘錄して見る。

（未完）

中隊長の狼狽

山國の聯隊にて　N・H生

某日中隊長と憲兵とが兵卒の所持品點檢の折り俺の持つてゐた『進め』を見て中隊長の曰く「君は實に良い雜誌を持つてゐるね——『進め』と云ふ名前が良い。俺も氣に入つた。內容は其の名の示す如く勇壯活潑なものに相違ない。他の兵卒にも是非讀ますべきだ。俺にも一部取り寄せてくれんか」

哀れ此の中隊長殿此の雜誌の何たるかを知らず、名前のみを見て早合點したものらしい。其處で俺の曰く

「中隊長殿此の『進め』は軍人の突喊する時の進めとは些か異つてゐます。先づ落付いて無產階級戰鬪雜誌なる此のモットーを御覽あれ」

と中隊長の鼻先へ突付けて更らに語をついで

「如何なる難關、如何なる障害をも突破して進むと云ふ點に於いては少しも變りませんが、只異つてゐる所は、飽くなきブルジョアの搾取の下に虐げられたる無產階級は一致團結して資本主義の牙城へ突喊し、新社會へ進めと云ふ事を意味してゐるのであります」

言茲に及ぶや喜悦溢るゝが如かりき中隊長殿の顏面忽ち蒼白となり、更らに忽ち滿面朱を注ぎ、惶惶狼狽置く所を知らず此の所暫く、蛸の變色の如く顏色は變化した。

やゝ暫くしてから俄かに謹嚴な面持となり此の雜誌は當分預つて置くと云つて逃げるが如く自分の室へ歸つた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コップ大使 福田狂二 露國大使館の會見

二月十七日午後一時、日本駐在露國大使コップ君より我が『柯公調査會』に對し、來らん事を請ふ。そこで福田狂二君を初め會員數氏は直ちに同大使館に赴いた。

館は既に修築を終へ、巍々として高く、其の結構正に三井、岩崎の邸宅を稜ぎ、ロシア・プロレタリアの膏血を搾取して成れる各房の裝飾は我等を嘲ふものゝ如くに見られた。

暫くにして、一人の巨大なる露西亞人の其の面相恰も活動の惡漢の如きが立ち現はれ、『これから面會する』と流暢の日本語で云ふた。依つて我等一行立つて行かんとすれば遮りて『福田氏のみ』と言ふので、福田君のみ之に從つて隣室に入つた。コップ大使は即ち此の室に在つて大卓子を前に福田君を迎へた。左には一等書記官クヅネツオフ君在り。前記人相惡しき巨漢は通譯であつた。直ちにコップ、福田兩君の問答に入る。

福田『お招きは大庭柯公問題の釋明と思ふが詳細に話して貰ひたい。貴下はロシアの代表者として正確な事を云はれん事を望む。』

コップ『大庭さんは一九二三年の末にエカテリンブルグで腸チブスで死にました。』

福田『然らば其の診斷書又は記錄はありますか。』

コップ『中央政府より只これだけ云つて來たのです。』

福田『そんな莫とした話では信ずる事は出來ぬ。直ぐに本國に詳しく調査せしめて貰ひたい。一體、大庭は社會主義者である。社會主義共和國と自稱する貴國が同志を捕縛監禁するとは何事です。大庭は堺利彦が紹介した者です。貴國は何故に、同志に對して同志の禮を以つてせられなかつたか。一年以上も監獄に放置し殺して仕舞ひ、今に及んで腸チブスで死んだ等と胡魔化す如きは斷じて社會主義者の態度とは申されまい。事實は事實として之を明白にし、謝すべきは男らしく進んで謝するが當然ではないか。一九二四年、貴國よりヨッフエ君が來られた折り、先づ大庭君の安否を質した處、彼は大庭は生きて居ると明言し、其の釋放を約し、旅費として大庭の家族の貧しい懷中から五百圓を調達せしめた。然るに、ヨッフエ君歸國するも大庭君は歸國せず、其の時殺されたとの報さへ傳へられたのである。又、先年カラハン君の島田領事と北京に會した時、カラハン君は、大庭氏は既に死んで仕舞つた。これが其の遺留品であると前にヨッフエに送つた五百圓がそのまゝ米貨に換へられて島田領事に渡された。更に讀賣新聞に送られて來た事實がある。こんな風に貴國の外交振りは一も誠意なく、資本主義國家の外交を見る如く、萬事、胡魔化しと出鱈目であつて社會主義國家として期待する事が出來ない。

コップ『ヨッフエは國事多端の際旅行してゐましたから知らぬでせう。嘘は云はぬ筈です。此の問題は日本の外務省にも調査をさせられた方が宜しい。』

福田『外務省！外務省に委ねる事は出來ぬ。我々無產階級には國家は無い。』

コップ『先年シベリアで日本軍の爲めに吾々の同志が澤山殺されました。けれども吾々は之を不問に附したのであります。』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

福田『貴下は何を云はれる。それは日本の軍國主義がやつた事であつて、社會主義者のやつた事ではないではないか。軍國主義のやつた事に我等が責任を負ふ必要はない。我等の關知せざる處である。第一貴下のその言葉は社會主義者の云ふ事ではありません。兎に角、大庭問題は貴國政府に充分の調査をなさしめ、之を天下に發表し世界の疑惑を解くべきです。これが貴下の義務であります。』

ブコッ『それなら、今一度云つてやりませう。猶ほ貴下からも片山氏に此の事を手紙で言ひ送つてみられよ。』

福田『御言葉までもなく、我等はこれまで幾度か片山氏に手紙は出しましたが、みな日本共產黨の手に握り潰しになるのを知つたからそれは止めました。』

ブコッ『私に手紙を下さらば、私から片山氏に送ります。』

福田『有難う。昨年八月、大庭死因調査會が起るご、日本の警視廳は私に對し、古い新聞紙法違犯を押しつけて入獄せしめた。噂によるご大使館か日本共產黨かの何れかが警視廳に通告して福田等は亂暴であるから事によると大使を毆るような事になるかも知れず、そうなると國際問題が起る故に今の中に彼を縛した方が宜しからうと言つてやつたと私は聞いてゐる。』

ブコッ『大使館はそんな事は絕對に致しません。またそんな事で國際問題が起る譯もありません。』

福田『一昨年か、米國々旗が反動團體に奪はれた事がある。この時、警視總監以下數十名の者が罰せられました。』

ブコッ『私の方の旗はあんな高い所にあります。それだから取る事、出來ません。』

福田『××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××。我々日本の社會主義者は乞喰のような日本共產黨の奴等の如く魂の腐つた奴ばかりではありません。
×××××××××××××
××××××××××××。』

ブコッ『同志が分裂して居つて困ります。』

ブコッ『貴國だつて、今も昔も分裂や喧嘩ばかりやつてゐる。レニンごプレハノフ。トロツキーごジエノビエフ……よく內輪喧嘩をして居るではないか。而も、日本の分裂はロシアが共產黨に金をやる事から起るのです。彼等はロシアから金を貰ふために團體や組合の中に喰ひ込み分裂の種を蒔くのです。貴國が共產黨に金を與へて居るために日本の正しい社會運動、勞働運動がごれほご墮落させられてゐるか分りません。』

ブコッ『金の事は私は知りません。自力で運動しなくてはならぬご思ひます。』

福田『近來はまた貴國では取引所を作り、極東では賭博を許可したさいふではありませんか。皆な資本主義國家のヤリ口です。これでは社會主義國家の影が薄くなるばかりだ。しつかりなさい。地下のマルクスが泣いてゐますぞ。』

かくて時刻過ぎ、福田君、コップ君の元を辭し、室外に待つてゐた同志ご共に大使館を去つた。

〔附記〕我等の大庭問題に就いてロシアに追求すべき事は、單に此度の此の會見をもつて終るべきでは斷じてない。この會見は讀者に於いて既に氣づかれるであらう如くに寧ろ不得要領のそれであつた。我等はロシアを社會主義の國家とは見ぬまでも少くとも社會主義へ進みつゝある國家とは考へてゐた。故に、その建設に從へる人々は──即ち政治的要路に在る人々は、その思想に於いては勿論のことその道德に於いても、正にブルジヨアのそれとは正反對のものを有するものご確信してゐた。之を言ひ代ふるならば、ブルジヨアの權謀術數ごサギ的外交に反して、プロレタリアの公明清朗の外交を期待した。然るに、我等の期待は根柢より覆へされ、我等は、實に一個のブルジヨア政治家を、我がロシア大使コツプ君に見たのである。先方が既にかくの如くならば我等にも自ら處する路がある。讀者乞ふ刮目して待て。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イン・プレ・コ

イタリー

◇八千の共濟組合に屬する工場建物は最近ファシストの手に沒收され、二百萬の會員は解散された。

これに對してロシアの共濟組合はムッソリー首府へ宛て嚴重な抗議書を提出した。

◇最近所謂ファシスト法案が議會を通過され、近く實施されることになつて居る、その要項は種々あるが首相に關するものを紹介しやう。

各大臣は首府を通じて始めてすべて責任を有するものにして、議會を通じては責任を有せず。

故に議會に於ける不信任案の提出、投票は效果なし。

首相の生命に危害を加へ、自由を犯すものは十五年の懲役に處す。然してその犯罪が成立したる曉に於いては終身懲役とす。

言論又は行爲をもつて首相に反抗したるものは六ヶ月乃至三十ヶ月の禁錮或は五百リラ乃至三千リラの罰金を課す。

(註)リラはイタリーの貨幣の單位で一リラは我國の約四十錢弱にあたる。

ドイツ

◇近頃失業者、革命主義者にそなへるため、裝甲自動車に警官をのせてそれ等の運動を抑壓しやうとして居る。

現にブエル市の様な鑛山町で鑛夫の多い町には既に數臺おいて時々運轉させて居る。

チエック・スロバキア

◇陸軍省で先頃兵士の健康調査統計を發表したが、注意すべき數字として表はれたのは、兵役服務中死亡者に自殺者の多いことがある。

一九二一—二　死亡　六二八人
內自殺者一〇一人で全死亡者の一割六分

一九二二—三　死亡　四六六人
內自殺者一一〇人で全死亡者の二割三分

一九二三—四　死亡　三九九人
內自殺者九六人で全死亡者の二割四分

自殺の原因は當局にも不明。

エジプト

既に澤山の勞働組合があつて運動は着々と進んで居る。

政府はこの時代の要求を拒否するわけにはゆかず、又一方ストライキの頻發するのに鑑みてエジプト勞働總同盟をこしらへ、アブト●エル●ラクーマン●ファクーミ●ベイを勅選をもつてこれの會長とし、これにブルジョアの辯護士を加へて幹部を組織させた。

尚革命的色彩のあるものは一切組合組織を禁止して居る。

蘭領印度

◇ツェラバヨでは先頃金屬職工三千名のストライキが行はれた、原因は一職工が解職されたためで、それを機會として復職並に一般職工の賃銀增加を要求したのでストライキの首謀者達は煽動のかどにより入獄させられた。

◇共產主義宣傳に對する法案が近く上程される筈である。

ニュージイランド

◇昨年來議會總選擧があつたが海員二百五十名はその機會に檢擧された。

◇ニュージイランドは男女共二十一歲以上は選擧權をもつて居る。

勞農ロシア

◇ロシア共產黨員の數は中央委員會の發表によると、現役にあるもの昨年九月一日に於いて九十三萬七百一人で、その中婦人は十一萬四千九百九十名である。

◇共濟組合員の數は一昨年四月五百八十二萬二千六十二人であつたが十月には六百四十三萬四七〇人、昨年四月には六百九十五萬四千八十四人であるが、本年へ入つてからは七百萬人を超してゐる狀態である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

零の獲得

渡邊信義

この社會に於ける個々人の貧困を個々人の能力勤惰等の個人的視角より解釋し、しかしてその見地よりしてこの貧困の解決を見んとしても、それはとうてい不可能の事である。貧困は此れより彼れへ、彼れより此れへと轉々するのみであつて、決してこの社會より沒し去る事はなく、常にいづれにか存在を續けるであらう。この社會の個々人の貧困は決して個々人の能力勤惰等に根本的に依存するものではない。

これに對して、社會的貧困と云ふ見解は、無數の貧困群の存在する社會を個人的視角より考察解決せんとする見解より一歩を進めた、この社會の機構、貧困の理解により近づいたものである。

しかして社會主義は、この社會の貧困の根本的原因を發き、その解決を鮮明した。即ちこの社會が資本主義と云ふ少數者の多數者支配搾取の社會であり、この資本主義社會の組織の中にその貧困の根本的原因を見出し貧困に悩む無産階級の解放の理論を科學的に樹立した。

世界資本主義の連鎖の一環たる我が國に於ける貧困に悩む無産階級の中に、この輝ける無産階級の解放理論の入り來り攝取せられたのに何の不思議もない我が國初期の社會運動は、この輝ける無産階級の解放理論の滿腔の感激の中に無産階級中の自覺せる少數者によつて進められた。それは燃ゆるやうなこの輝ける指導原理に對する熱情と昂奮の運動であつた。無産階級中の自覺せる少數者のこの輝ける指導原理を高揚し燃燒せる運動であつた。

だが、社會運動の實績は、この無産階級解放の指導原理が現實に得る力は、かゝる熱情と昂奮の度に比例して進まない。我が國の社會運動は、運動者のかほどの熱烈なる意志高揚にも拘はらず、意外にもその効果なきを知らなければならぬ時機に到達した。輝ける指導原理の燃ゆる如き熱情と昂奮の支持高揚の運動より眼をあげ、運動が實際に力を得るために、我が國の現實狀勢一般無産大衆の現實狀態の眞實を見詰め、その上に歩一歩運動を進めなければならぬ必要に迫られた。社會運動は社會主義の運動であり貧困に悩む無産大衆の解放運動である。無産大衆の支持なくしてそこに何等の見るべき實績がある筈がない無産階級の解放理論は無産大衆の支持を得てこそ始めて生々と輝くのである。無産大衆の中に力を得なければならない。運動の大衆化、方向轉換はこゝに起つた。

　が社會運動の方向に轉換のあるべき理由をみとめない。運動の大衆化とは運動の方向轉換を意味することではなく、それは運動が眞實に力を得べく等閑せられたる重大なるものゝ發見による運動の進出擴大深化展開である。これを方向轉換とするところに用意あらざる過誤かひそ

暴壓一ツ

永田繁澄

◇無産階級解放運動に從事して居る人々のみならず、無産階級に如何に無法なる官憲の壓迫があるかと云ふ事は、階級意識に目覺めた人であるならば充分知悉して居るだらう。

◇又現在の法律が如何にブル共に好都合に吾々無産階級に餘に不利に作られ、而もそれを適用しつゝあると云ふ事も、勞働者ならば周知の事である。その一ツとして最近に發見した一事實を述べる。

◇勞働者解放運動の第一線に立つ人を警察—檢束—は殆ど附物であり、何時、如何なる時場合でも見る事が出來る。

◇去る七日に行はれた全國一齊の大示威運動惡法案反對に勞働者であつたなら萬難を排して此の吾々の生命をヨリ以上に縮めんとする——資本家にヨリ以上盲從さす可く——倒壞せんとする資本主義を寸時でも支ふ可き——惡法反對示威運動に參加せねばならぬと思つたであらう。

◇事實此の意志があつたればこそ、斯くも堂々たる大示威運動が擧行せられたのである。而も斯うした運動に俺一人は意思は十分有り乍ら參加出來なかつたのが返す〴〵も殘念で堪まらない。と云ふのは六日の朝六時半頃未だ眠つて居る時分に警察から踏み込まれ早速檢束の憂目を見た。放還されたのは七日の夕五時頃であつた。要視察人の悲しさと云ふよりは逃げ方の遲かつた結果が此んな事になつて仕舞つたのである。

◇檢束と云へば只何でもない事、附物と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

み、その過誤は方向轉換の危險性の警戒にも拘はらず、やがて發展すべく發展する。

運動の方向轉換につれてこゝに運動の現實主義は生れる。

しかしながらそれは決して階級意識の遲れた一般無產大衆への妥協によつてではない。この大衆の社會主義的把握によつてゞある。しかるに運動の現實主義なるものは如何か。それは現實の大衆はかくの如くである、階級意識の遲れた大衆である、かるが故にこの大衆の把握は社會主義的把握によつてすべきではないか、現實の大衆はかくの如くである、階級意識の遲れた大衆であるが故にそれ故にこそこの大衆の把握は社會主義的把握によつてしなければならないのだ。この大衆の把握を社會主義的把握によらずして如何にして社會運動の眞の目的は遂せられるか。資本主義の階級社會である。少數者の多數者支配搾取の社會である。この多數者無產階級の解放はこの×××××××××××××××××××××××××××××社會運動はかゝる爲めの運動である。かゝる爲めの社會運動にとつて現實の階級意識の遲れた一般無產大衆は零でしかあり得ない。かゝる大衆を社會主義的把握によつて把握せずして如何に把握するとも零プラス零である零の社會運動である。かくしてそれは如何にしても眞實無產階級解放の社會運動ではあり得ない眞實無產階級の解放はかゝる大衆を社會主義的に把握する社會運動によつてしか遂せられ得ない

問題にならぬ問題

猿田樂二

警察官吏の瀆職事件が、殊に最近になつて頻々と起る。警官だつて僕等と同じ人間だ。飯も喰ふし活動や寄席にも行き度いだらうし、酒も飲み女も買ひ度いに極つてゐる。殊に人間中の最も人間らしき者（誤解する勿れ、人間は動物である事を）は何と云つても警察官吏だ。これは商賣柄さうある可きが當然だその人間中でも最も人間らしき警官をつかまへて、道德のお化けのやうな聖人君子たれと注文するのは、注文主の方が野暮と云ふものだ。碌すつぼ金もやらないで放し飼ひにして置けば、これは無論最も人間らしい無錢遊興や收賄や、時には○姦○盜位はやりかねない、さう云ふ環境に押し込めて置いて、その環境の命ずる如くに動いたからと云つて、狼狽して薄給な其日暮らしの木ッ葉役人の頸を切るのは慘酷だ。切られた頸は益々惡化して行く。その證據はよく警官上りの犯罪人と云ふ記事が、新聞の種にされるではないか。

彼等だとて巡査になる積りで生れて來たのではあるまゐし、飯喰ふ術にしてゐるのだから、飯の喰へるやうにしてやつて、それでも瀆職が起きたら、その時に頸を切るがよからう、幹部連がぬくぬくと機密費で暖まつてゐて、平巡査が空腹でひよろひようでは、今も言つた通りに彼等だつて人間だから、何とかして慾望を滿さうとするのは、これは判りきつた理窟ぢやないかね。

然しこの判りきつた理窟は、資本主義修身讀本には書いてないさうだが。——

云ふ風に今日迄考へられ、餘りに深考する人もなかつたので、何等考へもせず檢束されて居た、處が今度始めて留置場に備へ付けてある出入檻者名簿を一寸見た驚く勿れ、吾々は一つの罪人として——行政處分——と云ふ名目で檢束し、或は示威運動、その他何々等、それが濟む迄三日四日は檢束するが、此れは行政處分で檢束し、拘留何日と云ふ形式である。

◇吾々が例へば遊飯喰ひに檻房から出る時等は取調べの形式、歸る時は說諭放還と云ふ名目である、餘り今日迄氣にも止めず檢束されて居たが實に此の事實を見た時、如何に吾々に對し、無法なる壓迫をなしつゝあるかと云ふ事を、更に猶深く考へさせられるに十分である。

◇現在の此の資本家に好都合な法律を以てしても彼等は尙飽き足らず、更に吾々を罪人として迄も、寸時でも解放運動から退かさす可く、此の行爲——玆に到つては實に呆然たらざるを得ぬ。

◇資本家と警察——一心同體なるは、一般勞働者周知の事なるも更に又此の事實に依つて如何に彼等が、吾々無產階級解放運動に徹底的に迫害を爲して居るかが分る。

更に單に要視察人なるが故に、罪人として取扱を受ければならぬ、此の一事實は、確かに熟考を要する事ではなからうか、敢て諸君の參考に資すと共に、注意を促して置くものである。

此の不當檢束問題については本誌五頁に布施辰治氏は懇切に法律的解釋を下して居られるから諸君の熟讀を俟へ。

（編輯係）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會小說

ジミイ君の話（1）

アプトン・シンクレエア
前田河廣一郎譯

◇

これから抄譯しようとするのは、アメリカの社會主義小説家アプトン・シンクレエアの『ジミイ・ヒギンス』といふ小説である。ジミイ・ヒギンスといふこの小説の主人公は、日本で云へば、社會運動の椽の下の力持ちとでも云はれる種類の平凡な、理窟も虚榮心も利己心もなく、黙々として主義のために忠實に働く勞働運動者のことであつて、その名前も平凡ならやる事も平凡であるが、シンクレエアはこの一篇を通じて、すべての社會運動にもつとも必要な「捨て石」の理想を鼓吹したものである。それにしても、シンクレエアは、自分でこの小説が、彼の全著作のうちで一番面白い小説だと云つてゐるほどであるから、單にやたらに感傷的であつたりヒステリツクであつたりし勝ちな東洋的なプロレタリア文學の傾向だけに眼を向けてゐた人達は、もつとちがつた社會主義小説の一面なつつかり掴み得ることだらうと思はれる。シンクレエアからの近信によると、『ジミイ・ヒギンス』は誰か他の人が飜譯權を貰つてゐるといふことだから、私は、本誌では單に四五回に亘つて、その大體の骨子を辿つて興味中心の讀物として提供しようとするだけに止まらう。あらゆる方面から見て團體運動であるべき社會運動に、個人運動者だけの榮達は禁物である。誰も彼もがレーニンとなり、トロツキーとなりたがるやうな日本の社會運動史には、たしかに『隱れたる運動家』としての『ジミイ・ヒギンス』は必要である。私が、ここにこの抄譯をはじめる所以も、百の議論よりも一つの小説、といふ日頃の心持からである。

一

『ジミイ、活動を見に行けないかしら？』

ジミイは、あとでかう自分に云ひ掛けた妻の顏をじつと瞶めた。

三年半の結婚生活で、彼はやゝ沈默の値打を知りかけてゐる。今日、彼れの生涯にとつて空前の危期とも思はれる大演說會の日、女房は、役者が飛んだり跳ねたりするのを見たいと云ふのだ。今更乍ら、男と女の智慧の別れ目の深過ぎるのがわかる。

『それがね、リツズイ』彼は辛抱づよく答へる。『御前も知つてのとほり、今日は、あの劇場の方の手傳をせにあならないのでな――。』

『でも、朝のうち一杯で濟むぢやないの？』

『どうも、一日がかりになるやうだよ。』

かう云はれて見ると、遉がのリツズイも口を噤むよりほかはない。彼女も、三年半の結婚生活で、勞働者の女房となるといふことは、世の中の好きな物、欲しい物が、いつでも得られるやうな生活でないといふことを、ほゞ悟りかけて來た。殊に、勞働者と云つても、運動の宣傳部の仕事などを振り當てられる良人のやうな人間では、――ま、何せ、ほかの女や酒などにだらしなく入り浸つてゐるよりは、それでもいくら增しだか知れなかつた。日曜の午後の樂しみがなくなつたとしても、從つてさう當てつけに嘆息するわけにも行かない。

それから、ジミイは、朝の食卓の形づかない前で、その日の仕事の段取を云つて聽かせた。が話して貰つたにしても、リツズイにとつては、その日の會場がオペラ劇場であり、演說會は町の店々に寫眞の陳列してある大統領候補者であるといふこと以外に、ほかの場合の會合とさして變つたものとも思はれはし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

なかつたのである。どんな立派な候補者でも、彼女にはみんな同じことだつた。何となれば、どうせ彼等は選擧された試しはなかつたのだから。そんな會合へ出て、わからない小むづかしい演說などを聽くよりも、留守をしてゐた方がよかつたのだが良人が彼女にかふいふ社會敎育を施こさうとしてゐる熱心さのためには、無下にも斷れなかつた。

ジミイには三人の子供がある。三人をいつしよにすると、かれこれ、合計六十ポンドからの體重があつた。その三人六十ポンドを、忌々しい電車の株式會社へ二十仙の乘車賃を拂はずに甘く會合の席へ連れて行くために、彼には妙案があり、その妙案を他人に誇ることは彼の欣びでもあつた。といふのは、最近彼は救世軍の古物店から、一個の尨大な乳母車の古物を購つてそちこちと手を加へたのち、長男と次男坊を手元へ並べ、赤ん坊は二人の足元へ寢かし、自分がそろ／＼と車を曳いて行けばよかつたのである。

ところが、ジミイ長男君と來たら、その車の中に迚もじつとしてゐるものではなかつた。現に今も、この頃家の中へ迷い込んだ痩犬の、どこまで追ひかけても逃げる一方であるところの尻尾を追ひ廻はして、臺所中をひつくり返へしてゐた。長男は、笑ひながら食卓のまはりを、尻尾を掴み得るといふ信念の下に活動し、しまひにストーヴに行當つて家が割れるやうな聲で喚き出した。それを抱き取つたリツズイが、ボヘミヤ語であやし立てる。そのボヘミヤ語といふのが、一語もわからぬところから、ジミイは、その混亂の機會を幸ひと、鳥打と上衣を取つて立ちあがる。――人間苟しくも社會主義者であるからには自分の子供を見たり、または單に考へたりするだけでも、プロバカンダの仕事にます／＼熱心になるわけである。憐れむべき子供達をして、彼等の兩親のやうな悲しみ苦るしみを味はせないやうに、一日も早く世界に變化あれ！

二

『同志ヒギンス、槌を取つて吳れ給へ！』

かう命じたのは、梯子の上から旗を飾つてゐた同志シネイダーであつた。槌を持つたジミイが梯子を昇らうとすると、舞臺の向ふ側から、女の聲がした。

『同志ヒギンス、あのユプセルの旗は來ましたかしら？』

すると會場の背後の方から、同志ラビンスキーの丸るい聲が響いた。

『同志ヒギンス、冊子を賣る臺に卓を一つ持つて來て吳れませんか？』

そこへ、上二階の方から同志マリイ・アレンの聲がした。

『同志ヒギンス、下階にゐる序に電話をかけて、出迎ひの人達へ汽車の時間の變更を知らして戴けませんか？』

と云つた具合に、そこへ着くや否やジミイは會堂の中を汗みどろになつて駈け廻はらねばならなかつた。それはリイズヴィルの眞夏のことであり、人間が高い壁へ旗を掛けに昇つたりするのは燒かれるも同然であつた。しかし、旗は掛けなければならなかつたし、舞臺には赤旗、マルクスの記念旗や、ユプセル（リイズヴィル青年社會黨の略字）旗や、その他の勞働團體旗は揭げなければならなかつた。それに、ヒギンスは誰でも命ずるがまゝに、何でもはい／＼云つてする習慣になつてゐたから、誰でも彼をばいやな仕事を喜んでする男だと思ふようになつた。

のみならず、この社會黨支部が掘り崩された蟻の穴のように他の仕事で忙しかつたから、彼の仕事も一倍と多かつたわけである。人達の間の働き手と云はれる者でさへも、三々伍々群をなしては今朝新聞に發表されたことを話してゐたのである。ジミイもその仲間に這入りたがつたが、誰かしら仕事をする者がなければならなかつたし、當夜の催しに就いては支部では三百

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

弗からの支出を來たしてゐるので、世の中を半氣違ひにしても是非とも成功しなければならなかつたのだ。そこでジミイは梯子を登つては旗や吹流しを吊したのである。

　それから晝時になつて、皆が飯に出て行く時、裝飾委員達は配達人が宣傳用の冊子を持つて來ることに氣が付いたので、同志ヒギンスがそれを待つことになつた。それには理由がないでもない、ジミイは冊子係りになつてゐた。どこでもむづかしい仕事のある所にはジミイは役員となつてゐた。その代り、例へば大統領候補者の委員とかいふ役目は彼には振り當てられなかつた。さういふ方面には法律家とか、裕福な醫者とかカーペット織工組合の幹事とか、すべていゝ着物を着て教育を持つた人達が選ばれ、彼のように無學な、脊も低く營養不良な、味噌ッ歯の、手の荒れた、何一つ取り柄のない男は選ばれはしなかつた。

　かうして配達人が來た時、ジミイは荷物を受取つて、本や冊子を順序よく卓の上に載せ、そのうちの見てくれのいゝのは後ろの壁へぶら下げた。そこで、冊子委員長のメーブル・スミス夫人が晝飯から歸つて來た時には少からず喜んだのである。それからドイツの同志の人達が來て當夜の催しをお浚ひすることゝなり、ヒギンスもそれを見てゐたかつたのだが、誰か糊を買ひに行く者がなければならなかつたので、ジミイは近邊の日曜日に開いてゐる藥屋へ使ひに出された。

　それが過ぎるとやつと手明きになつたので、ジミイは俄かに空腹を思ひ出した。ポケットを探してみると十七仙這入つてゐたので、家へ歸るのは遠かつたから、町角の『トム』の料理店で珈琲とドウナッツをやることにした。それでも出て行く時は誰かほかに用はないかと、一應たづね廻つたところから、スミス夫人は席場へビラを配る手傳ひが欲しいから早く歸つて來て吳れと云ひ、同志メースナーは演壇の椅子の位置をあとで直して貰ひ度いと云ふのであつた。（つゞく）

赤松克麿君と轉換期の日本の社會運動

石川準十郎

同志赤松克麿君は最近その論文集『轉換期の日本社會運動』を著した。この書は單なる社會時評的論文集でなくして、實に現在進展中の日本社會運動に對して決定的意義を有する理論的文獻であり、血のにじんだ戰鬪記錄である。人も知るが如く、日本社會運動は昨年を變期として劃時代的な展開に入つて來て居る。所謂共產黨派と反共產黨派との分裂がそれである。共產黨派の諸君はこの反共產黨派の勃興事象を目して頻りに『資本主義最後の階段としての帝國主義反動期の產物』だとか『勞働貴族』乃至『勞働官僚』だとか、『日和見主義』乃至『第二インタナショナル主義』だとか『ブルジョア・イデオロギー』だとか言つて居る。そしてそれを尤もらしくする爲には、所謂『觀念論を離れて觀念論に歸つた』と評される所のマルクスの前カント的ヘーゲル的考へ方即ち辯證法も助けて吳れると言ひたい程思はせ振りたつぷりと主張して見せて吳れたし、又『日本資本主義の調査』も尤もらしく宣傳して見せて吳れて居る。要するにこの人達は、反共產黨の勃興は日本プロレタリアの要求に眞に即して居るものでないと言ふことにして了ひたいのである。或程、日本の出來事を一切合切一定の種本で說明し、この世の一切の事象を辯證法でこじつけたら、然で宜からうし且いい氣のものだらう。がそれが眞に正しいかどうか乃至可能であるかどうか、眞に日本プロレタリアを解放する所以であるかどうか、に至つては自らが問題である。その如何は全く今後の論證乃至實證に懸る所であり、その最後の審判は刻々刻む事實の論理に求むるより他はない。而して吾人の一種の社會的良心は吾人をして共產黨派の諸君と其所信を同じうすることを許さない。

赤松君は人も知るが如く反共產黨派の代表的代辯者である。今日所謂共產黨派と反共產黨派との決定的相違點は、私の見る所に依れば、第一にマルキシズムのロシア共產黨的解釋を無批評的に受納信奉し、ロシア社會主義をそのままモスコーの指命乃至援助に依つて日本に展開せんとする者と、マルキシズムをば必ずしも西歐黨派の解釋に依つて採らないと共に批評的精神に依つて發展せしめることに努め、日本に於ては日本の事情に即した社會主義を展開せしめんとする者との相違にあり、第二にはその運動を進めるに當つて人間を手段としての利用、中傷、氣くり、攪亂等の反社會的、反無產階級的態度を採り且これをよしと心得る者と、反對に互助乃至互讓の社會的無產階級的道德を主張しこれを排斥する者との相違にある。赤松君の『轉換期の日本社會運動』には切實にこの指導精神の相違が表はれて居り、後者の指導精神が全卷を通じて脈々として波搏つて居る。同書は實に評議會對總同盟の理論的爭鬪の記錄であり、日本無產階級に對する一反共產黨社會主義者の痛烈な論告である。

私は同書に於ける個々の點に於て、殊に言葉の使ひ方に於て（例へば自由主義なる言葉の使ひ方に於て）必ずしも赤松君に賛成するものではないが、その基調となつてゐる根本的精神乃至態度に於ては衷心より賛成し、且つその勇敢な論告を心から壯とするものである。（定價一圓五十錢、芝區西久保八幡町廿五厚生閣書店發行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働賃銀に於ける階級鬪爭

松　里　茂

（一）

商品の價値は勞働力の量に依つて定まる。即ち勞働力の支出の必要が大であれば、その商品の價値も大であり、少なければ小である。從つて、一の商品の中には一定量の價値が存在してゐるのである。この價値の量は社會的に確定してゐるものであつて、資本家の頭一つで勝手にこれを增したり、減少したりすることは出來ないのである。

即ち、この價値は、生産機關（生産資料及び生産機械）の價値（この中にも既に勞働力が支出されてゐる）と今度新らたに支出された勞働力とに依つて形成されてゐるのである。從つて價値は、勞働賃銀又は利潤と關係なく、初めから存在し、確定してゐるのである。

されば、形成された價値の一部は、必ずこの形成の爲に消費された生産機關に補充されねばならない。そして他の餘まつた部分を、資本家と勞働者とが分配しなければならないのである。さあ、こゝが問題である。

（二）

前にも述べたる如く價値の額は、勞銀又は利潤と關係なく、始めから確定してゐるものであるから、勞働賃銀が騰つても、價格は騰貴するものではなく、勞働賃銀が下がつても價格は下落するものとは定まつてゐない。然し利潤は、勞働賃銀とは反比例して增減する。即ち勞働賃銀が上がれば、利潤は減少し利潤を增大せんとすれば、勞働賃銀を減少せなければならなくなる。

これを意識的に說明すると、資本家は成可く多くの利潤を得んとし、勞働者は成可く多くの勞銀を得んとする。その結果、勞働者と資本家とは互に相手を制限し合ふやうになる。一方の得る所が大なれば大なる程他方の得る所は益々小となる。そして、價値の額は一定してゐる。

あゝ『忠ならんと欲すれば則ち孝ならず、孝ならんと欲すれば則ち忠ならず』實にこの『一定の額』と云ふやつこそは昔の重盛の立場である。これが何とかなるなれば『階級的利害の調和』が行なはれ得るのであるが、社會はこんな『一定の額』のセンチメンタルを聞いてゐる暇間がない。彼等の利益は絕對に一致しない。彼等の間には調和も協調もない。只利潤と勞銀の掠奪戰が絕えず行なはれ、階級對立と階級鬪爭があるのみである。

この事實を認識することに依つて近世社會主義は生じたのである。

近世社會主義は此の兩者間の鬪爭を解決せんが爲めに生れたのであるが、然らば社會主義は如何なる方法によつて此れを解決し、此の鬪爭をして根絕せしめんとするのであるか。吾々は今茲に明記するの自由を有してゐない。が要するに利潤に依つて生を得んとするものを除くのであると云ふ一言で盡される。

新刊紹介

◇資本主義經濟と社會主義經濟（北澤新次郎著）資本主義と社會主義の經濟の相異を初學者向きに平易に解說してある。（定價二圓、振替東京九六七八、日本評論社）

◇農村社會問題の趨勢（太田利一著）農村問題研究の一文獻、小作爭議、小作組合、地主組合、農民運動を取扱つてゐる。（定價一圓八十錢、發行所同上）

◇最近經濟學說（金井滿司譯）（定價二圓、振替東京六八〇八八、事業之日本社出版部）

◇ロシヤ革命家の生活論（西村二郎譯、定價八十錢、發行所同上）

◇革命ロシヤの藝術（尾瀨敬止著）革命ロシヤの藝術に就いての著者の評論集。（定價二圓、發行所同上）

◇勞働關係法規（三田書房編輯部編）勞働者に必要な法律を聚めたものである。收むる所、工場法、海員法、鑛業法、小作調停法、治安警察法、行政執行法、警察犯處罰令、違警罪即決令、治安維持法等其他二十數項、勞働階級に必ず一本を備ふべきである。（定價七拾錢、東京芝區三田一丁目、三田書房）

◇大衆と共に進め（稲田征二著）反動主義者を痛烈に攻擊し彼等をして完膚なからしむるに足るものであつたが不幸、發行即日發禁を命じられた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全線飛報

有閑階級の無產者呼りを葬れ

宮城縣ほど有閑階級の多い所はない、仙臺ほど僞プロレタリアの多い所はない。曰く政研宮城支部、曰く全日本無產青年同盟仙臺同盟、曰く無產青年聯盟、曰く仙臺印刷勞働組合、曰く何、曰く何？とさうしたプロレタリアを裝ふ奇怪な組合團體がある、その團體は果して現在何をなしつゝあるか、彼等は現在何をなさんとしてゐるのか？

唯一人の本屋の店員によつて組織せられ、それに二三の學聯の會員が蠢動したとて、それがかくも麗々しく、看板を揭げて、コケ脅しも氣が強い。

體のよい評議會のお先棒になるため、本部の御機嫌をとるため、中味のない脫殼みたいな團體を創つて、ノホヽンで納つてゐられる、芝居氣澤山なこれらの奴等に指導（？）せられる宮城縣の全無產階級は好い面の皮だ。

吾々の運動は空想ではない、實際だ。型式ではない、眞實だ。

蟬の脫殼みたいな組合を作ること、南瓜の腐れたやうな團體を造ることは、決して吾々の運動に對して邪魔にこそなれ、何一つ効果も與へない。

吾々の進む一路は空疎な大きな道ではない少くとも純然たる、一つの異分子をも含まざる、進展の可能性を有つ團體的爭鬪だ。

閑があるから？　面白いから名が賣れるから、そんな心持を持つてこの無產階級解放運動に携はることは以つての外だ、吾々の運動は遊戲ではないんだ。賣名ではないんだ。吾々の運動こそ、生活苦のどん底から芽生る血と、汗と、忍從の反撥なんだ。

ブルの息子に、現今の大學生に何が解る、勞働者以外の人間に勞働苦が解せられるか、苦しんで、苦しんで、苦しみ拔いた底から眞に目醒めた、階級意識がはつきり甦る。

大學出のお坊ちやんの生噛り「唯物史觀」から何が發見せられる。露國直輸入の誤謬だらけの思想に何が出來る。

そんな組合を作る閑があつたら、もつと〳〵深く勞働者を見ろ、勞働者の組合を作りながら勞働者に發言權を與へないやうな手段で大衆を獲得することができるか？

大學の講義は、勞働者の頭にそのまゝは入りませんよ、本屋の算盤は、勞働者の算盤とは違いますからね。

宮城縣の有閑階級の、プロレタリアなる方々よ他人を解放する前に、ようく自分を反省しろ自己を解放し得ない人間に他人を解放する力があるか？

評議會のお先棒を承る前に、自分の足許をよく見てをけ、そして墓穴の用心が大切だ。

吾が全無產階級者よ、起て、起つて彼等の玩具になりつゝある階級運動を吾々の手に奪還しろ。（宮城縣佐藤省二）

鐵腕は高鳴る

今や橫暴飽なき資本主義は彼等の走狗たる××をして威嚇と辛辣なる魔手を延して、凡ゆる兇暴を××の原則となし全國津々浦々に到るまで、資本主義經濟組織の缺陷と罪惡を我等の兄弟に盲目たらしめんとする、彼等が社會政策とかに必死となり、亡びゆく者の猖獗振りを示してゐる。彼らの此の下劣なる搾取的常套手段に對して我々は最も眞摯に鬪爭をなし、××の××をしなければならない。

此の秋に當り福田氏其の他「進め」同志諸兄の援助のもとに神戶の一隅より吾が鬪激社は生れたのである、戰鬪的氣魄の充滿せる「進め」神戶の同志はブルジョア階級の牙城を粉碎すべく戰略に勇敢である、奴等の彈壓に對する正義の抗爭は無產者解放の生命であり、無產者が發揮すべき本領である、今や無產者の鐵腕は高鳴る秋ぞ來る、我等の兄弟よ！　進め！進め唯進めだ！　最後に同志諸兄の健鬪を祈り、切に御援助を切望する次第である。

（兵庫縣　岩井伊久太）

郷里の慘狀を目擊して

私は昨年十二月、數年振りで第二の故鄕である、福井縣敦賀郡松原村沓見に歸つて、餘りにも悲慘な鄕黨の人々の生活を目擊して堪へられなかつた。鄕里松原村沓見は敦賀町を西へ一里餘、四方山に圍まれた一寒村である。百七十戶餘のこの一寒村は、その大部分が、文字通りの水吞百姓であるが、小作人の溫順に附込んでの小作料の高いのと、三年に打續く不作のために見るに忍びざる生存を繰返してゐる。この部落は大正十三年の如きは大旱魃のために殆んど無作に近く、地主は小作料取立不能といふ口實のために地租を全免されたのである。然るにだ、橫暴といふべきか、冷血といふべきか、殆んど殺人鬼に等しき地主共、（中には多少良心の持合せのあつた奴もあるが）平常通り一合の小作料も減ぜず、小作人から取立てたのであつた。無作に等しい時ですら右の通りであるから昨年の如き中作の時は小作料の減額なんかありやう筈がない。一年間、朝は星をいたゞき夕べは月を踏んでかへる、汗と脊を擦つて働いて働いて骨を削るやうな勞働苦も天災のために何の收穫もなく、貧しい家財道具を賣飛ばして小作料、肥料代を拂つた時、小作人の得たものは營養不良のみであつた。ある小作人の如きは昨年一年家內七人勞働し得る者四人が、働き通して秋の收穫が、小作料を差引いて僅かに二斗に過ぎなかつた。といふ。この二斗によつて多額の肥料代と今年一年の生活費を生みださふといふのである。この部落の小作料は土地に依つて多少の差はあるが小作人四步、地主六步の割合である。如何なる天災があらふと此の比率は斷じて變らないのだ。この部落民の平常口にする食物は、今日の×××國家に依つて經營されてゐる監獄よりも數等劣つてゐることは私

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が體驗によつて斷言し得る現實だ。三年の不作によつて如何に部落民が貧困以上のドン底生活をしてゐるか、それは昨年に於いて働き盛りの青年男女が營養不良によつて夥しく死亡して行つたのを見ても判ることだ！　現代支配階級は實に斯くして質朴なる農民を搾死させつゝ行くのである。

この村の區長であり、支配階級の代表者である某若僧は、この部落の現狀について左の如く語つた。『小作人の貧困は事實である。三年に打續く不作のために小作人が苦しい生活をしてゐるのは事實であり、地主の無理解なのも事實です。今日の小作人の收穫を平年作によつて計算して見ると一家一日の收入三十錢位である一昨年の旱魃の際に地租が全免されたが小作料は大して減額されなかつたのは可いことでないと思ふ云々』支配階級の代表者であり、小作人と凡ての點に於いて反對の立場に置かれてゐる地主の身でありながら、多少生かぢりにも現代の思想を呼吸してゐるために——右のやふな言辭を吐くを思ふ時、小作人階級の貧乏の程度も想像されやふ。溫順であるがために、質朴であるが故に、現代思潮に迂遠であるが故に、そこを附込んで搾取する、ブルの××な手段を思ふ時、俺達は、俺達は！××の血が燃えたつのだ？　全國同志の後援を今から期待する!!

（福井縣　菊池愼）

時は來れり

『理窟はよいがポリスが怖い』これが我が地一般青年の盲章である。御無理御尤で頑迷固陋な軍人の古手や村吏の誤迷論を拜聽し指導され舊道德を支持し極惡な現社會を支持する役割をつとめ、隷屬と忍從を使命と心得て居る御用青年團青年の愚盲さ！　まだ〳〵農村青年は眼覺ては居ない。財閥の御先棒の隨一濱口ライオンの郷里たる土佐は殊にそうだ。

生臭坊主の思想善導反動ゴロの建國祭山下信義式家產造成法等等巧な官僚式宣傳はよくも徹底したものだ。一言一擧皆よく自己の墓穴を掘りつゝある無自覺な農村青年。有ゆる組織的宣傳と高壓的權力に依つて欺瞞され威嚇され懷柔され去勢された百姓青年。靜思する時は來た一分一秒の止りなき地球の廻轉は、社會の進化は何を告げてゐるか？

リープクネヒトは言つた『未來は青年のもの』とそうだ俺等は俺等自身の學問を研がねばならない過去六ヶ年間の小學教育なるもの果して俺等の學問なりしや、×××、××。×××××××××××××××××××、×××××××××××××××××××××××××××××××××××××である。

それには先づ都會青年と握手せよ、農村を搾取する都會との團結だ醜れる文明より。

××××××××××××××である××××××××××××××××處女地開拓の爲め努力しよう。片山潜氏の『鋼鐵の如き意志』を以つて倒れて後ち止む赤い血一滴有る限り勇敢に啓蒙に勉めあらゆる市町村落に俺達の旗を立てよ。各持場を守り使命を遂行せん。

（高知縣　前田泰男）

美名會生る

吾が支局所在地西大寺町では、濟世會設置に付て、昨年來奔走し既に本誌十二月號で記載の如くであるが、是れが發會式を二月十五日同町公會堂に於て開催し、來賓は知事以下縣、郡、町、村有志等がズラリと居並び、會員數百名着席し、式の順序は型の如くで何にも方句はないが、役員及來賓等の挨拶や祝詞が甚だ癪にさはる、或る役員の結論は本會基金を預金して、利殖する云々と慾張り論を放言す、或る來賓は、本會の救濟事業を頼るが如き貧民が若しありとせば、コハ即ち人間の本精神を知らざる者なりと侮辱的暴言をなして居る、其他各員の言辭中に彼等は一口毎に貧民々々と稱へ恰も社會の人間全部が、好きで貧乏して居る如く稱して居る、如何にブル階級共の發會式とは云へ貧民を侮辱した言である、終つて折詰の中食があつたが、夫れが又不都合極まる問題である今回此の發會式に際し縣より多額の補助金の交附があつた該金を以て數百個の辨當を購入しブル階級の會員のみがパク付いたのである。彼等は式後雜談に滿足して、居たが補助金辨當にアリ付けぬ貧民は會場外の寒空に其の光景をながめて居た、吾々プロ階級は今後大いに團結し彼等如き美名を利用し貧民を侮辱するブル階級に對抗すべく目下寄々協議中なれば或は近く一問題を惹起するならん。

僕は本誌支局設置以來當地方を運動し各種の方法を以て宣傳し近來稍々同志も殖へて來た、僕は去月來吾々プロ同志の團體を組織せんとし今回の惡法反對運動を兼れ同志録を作らんと奔走した處、平素はプロ階級思想家と稱へし者がイザ團結をなして活躍せんとすれば何づれも引込み思案、でブル〳〵振るへて居る全く眞の同志は乏しいものだ、是れでは平素如何に社會運動云々と唱へて居ても、眞の團結を作り最後の運動手段は、とても至難である。希くば體裁主義を廢し、眞の社會運動に發奮せられん事を切に望むものである。（岡山縣　倉本晃甫）

地方警官の治法解釋

元山青年會は從來の綱領規則に不備の點あるを以つて委員會に修正案を提出した。綱領修正案（一）我等は大衆本位の合理的新朝鮮の建設を期す。（二）我等は階級的意識の下に青年大衆の鞏固なる團結と組織的訓練を以つて勞農大衆の解放を期す（三）我等は解放運動の實際的利益の爲め鬪爭す。以上の綱領修正案は滿場異議なく通過した處、突如として元山警察署は委員朴泰範外十二名を檢擧し左の如き事件內容書を發表した。

前略……彼等の制定した綱領は社會の秩序を紊亂するものと認め元山警察署は治安維持法違反として各委員を檢擧し目下取調中なり尚ほ家宅搜索の結果赤化宣傳の有力なる證據品を發見……後略

前記綱領は果して彼等の云ふが如き治法違反になるや否や？彼等の愚や實に嗤ふべし。（元山金大郁）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村の疲弊と青年の使命（一）

湯原彦三

國家の中堅で而も農は國の基なり、國の寶なりとの自負心を以て一生懸命に働いても、働いて得た生産物の過半數は地主に搾取せられ殘りの半額で以て肥料も買はなければならない、農具も買ねばならない。生活もせなければならない、税金も支拂はなくてはならない、怠けて居れと云はれても怠けられない一生懸命に働いても生活の安定だに得られない、貯金どころの騒ぎではない、食へるか食へぬかの重大問題なのだ。

處で昔の百姓も今の様な哀れな百姓であつたであらうか、親父や祖母の話を聞けば今の様にヤキモキせんでも安樂に生活して居られた様である、然らば何故に今日では哀れにも百姓してゐて食ふに困る様な狀態になつたか、此れには種々の原因もある世の文明に從ひ百姓の贅澤になつたのも事實だが其の內主なる原因を擧ぐれば

（一）地主が宛口米を引上げたこと

惡辣なる地主は種々なる手段方法を以て小作料の引上げをなしてゐる、米價が少し騰貴した翌年は必ず多少でも引上げられ米價の下落の年は知らぬ顔をしてをる、無智な百姓は耕作地を引上げられては一家族が生活に困る。生活の途がないと云ふて地主に反抗すれば田地は直に引上げらる、嫌でも應でも應せなければ早速困るので泣く子と地頭には勝てぬと泣き寢入りに往生させられたのである、そしてヂリ／＼と搾られた結果が今日の小作料である、明治八年地價設定の時代の小作料とは何割と云ふ大差のあるのを發見する。又賢こい地主や資本家は官憲と力を合せて農民を搾つてゐる。やれ品評會だ、やれ增收展覧會だ、米質改良だ等と騷いで縣廳や郡の役人等にいゝ具合に農家の收入の多い様に導かせて、傍ら米穀倉庫だ、米穀檢査所だとか云ふものを地主の爲めに造つて地主の番頭となつて宛口米の檢査をやる取立をやる、米質の惡いものは罰米を徴收せらる。俵装が惡いから受取らぬ等と農家に皆々負擔させて地主は懐手で懐を溫めてゐる、實際地主に虐められる丈で困つて居るのに官廳迄此れが應援をして哀れな百姓を搾取する、打たかれても撲られても如何ともすることが出來ない農奴は小作農民である。

（二）肥料代を支拂ふこと

以前には金肥即ち大豆粕とか燐酸とか窒素肥料、硫安とか云ふ肥料はなかつた爲めに肥料としては僅かに草とか厩肥或は人糞を肥料に使用して肥料には別に金を出さなかつたのが今日では全國山間僻地と雖皆金肥を使用して一反歩に相當の金を注ぎ込むことになつた。

始め百姓は金肥を注ぎ込めば收獲も多いので金を出しても差引計算上收益が多くなつた、此れならば引合ふ利益が多いとて盛に金肥を使用することになつた、處が收獲が多くなり利益が多くなつたと喜こんで居る間もなく鬼の様な地主は昔と同じ收獲に對する歩合を徴收することを忘れなかつた、百姓は金肥を使用して多くの小作料を支拂はなければならない様な有様で結局地主の爲めに金肥を使用して金肥だけ多く負擔をせなければならないことに地主は仕向けて今日の狀態となつた。

（三）支出金が多くなつた

藩政時代には宛口米さゑ支拂へば税金の負擔は無かつた、それが今日ではどんな無資力な無産農家でも戸數割（縣税及村税）農會費、水利配合費、荷車税、自家用醬油税、家畜税、區費等種々直接徴收せらるゝ外間接に酒を飲めば税金煙草を喫すれば税金織物税、砂糖消費税、鹽税あらゆる税金の負擔を受けてゐる租税公課以外に子供の敎育費、交際費其他種々と支出金が多くなつたのは競はれぬ事實である。

右の如く支出すべき金は多いのに收入は此れに倶はない、今日の狀態ではどうしても農家は一人前の人間として食ふことは出來ない、農業を營んで食ふことが出來ない、斯如不條理なる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ここがあらうか。如斯不都合千萬なる事實は片時も早く解決の方法を取らなければならない。

此の重大問題こそ世に所謂農村問題である。

學者政治家種々の方面より此の解決に就き論議せられて居るが未だ適切な手段は一も講じてない、二百幾十年かゝつて自作農を創定したとて燒け石に水だ。

二百年どころか五十年も二十年も十年も待たれない程切迫して居る、現在食ふか死ぬるかの境に徘徊してをる、死ぬるのを目前に見てオメ〳〵と待たるゝものか、如何に感覺の愚鈍な百姓も食えぬのには驚かずには居られない、一體どうしたらいゝのだらう。

そこで目先の早い百姓は將來百姓だけでは食へない、何か他に收入の途を講じなくてはならないと考へた、種々思案の結果伜を給料取りにすることだ、自分等は一生懸命で百姓して働き伜は役所又は會社に勤めれば僅かでも月々收入があれば經濟上非常に良い、百姓したとしても一人前月々三十圓二十圓もの收入にはならない、頗る明案なりと給料取にした。

扨て伜もいつ迄も十七歳や十八歳ではない、二十一歳になつて兵役の義務を履行して歸る。

軍隊より歸つて百姓も今更出來ぬ。百姓をしても引合はぬ事を知つて居る、そして過激な勞働をなし、肥も擔がなくてはならない、それより親や家族に百姓させて自分は再びサーラリマンとなつて收入を得る、成程其當座は賢策であつた、乍併妻を迎へ子供が生れても元來素養の無い故に給料は其の割合に昇給せぬ收入が無い、官廳にでも勤めて居て漸く判任官にでもなつて轉勤でも命ぜられればそれが最後だ、家內や子供を連れて年中ヒイ〳〵ガラ〳〵で火の車で暮す、親父等は年を取る思ふ樣に働けぬ、息子よりの送金はとても當にはならない、是もヒイカラ〳〵で年を送り年を迎へなくてはならない、貧乏の脫けるの暇もない、困つたものだ。

此れではならないと態裁のよい給料取りよりは實收の多い職人にした方がよいと次男坊を職工にした、成程之も獨身時代には比較的安樂に生活も出來た。

乍併此れも妻や子供の生活の保證は出來ぬ、最低生活保證も充分でない、一度病氣にでも罹れば實に悲慘なものだ、現在の社會では到底餘裕ある生活は望まれない、一體どうしたらいゝだらう、百姓しても食へない、職人でも給料取りでも生活が出來ない。

それでは商賣が一番良いだらうと丁稚小僧にやる五年も十年も辛棒して商賣を見習ひ一人前となつて獨立して商賣を營む素養が出來ても悲しい哉資本金が無い金が無い致し方がないから此れも主人に××××××にして貰ひ家內や子供に何一つ滿足を與へる事も出來ない、一體貧乏人はどこ迄も貧乏で其の子供子孫代々頭上げの出來る時がない、如何に學問が好きな秀才でも資金がなくば中學校へも入ることは出來ない、どの道を歩いたら安定を得る生活が出來るか思案困窮の極煩悶の極にあるのが今日の農村の無產青年である。

政府の役人連は何をして居るのか、現在此の農村疲弊の現狀が了解出來ぬであらうか、我國の行詰りの狀態が解らないのであらうか、精神作興だ、勤儉貯蓄だとか云ふて騷いだ處で何程の效果があるか、昔より云つて居る、衣食足つて禮節を知る、其の通りである、人間が食へない××××××××××××××××××××××ならない、其の根本の食ふ道を與へずして騷いだ處で駄目だ。

大正十四年度豫算に彼の有名な農村振興費の內譯を見よ。

農務局關係	二〇五萬圓
農業共同施設費	一七萬圓
農業倉庫奬勵費	六〇萬圓
（建設費の四割を補助）	
產業組合奬勵費	七萬圓
繭倉庫奬勵費	六三萬圓
（繭倉庫建設費四割補助）	
（乾燥設備費の三割補助）	
副業奬勵費	三五萬圓
農具改良普及奬勵費	二三萬圓
畜產局關係	一五萬圓
畜產共同施行費	一五萬圓
鷄卵保管設備費の五割、種牡牛馬購入費の四分の一、共同牧野經營費ノ三割補助	
水產局關係	
漁村共同施設費	三〇萬圓
倉庫、船揚げ場設備及び漁具漁船購入費ノ三割ノ補助	
合計	二百五拾萬圓

（未完）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨の成立を祝す

無產階級は遂に自らの政黨を持つた。吾等無產階級が、資本階級の總ゆる壓迫と戰ひ、然かも動もすれば戰ひ利あらず、その中途にして旗を捲くの止むなきに至つた例は、從來吾々の餘りに多く知れる所の事實である。然し今日吾等は勞働農民黨の成れるに際會して、吾國無產階級戰陣の更に一歩を進め、其の陣容の整備せるを見て茲に一大祝盃を擧げてその前途を祝福するものである。想ふに吾等の戰ひは、今や敵陣を俯瞰して歩哨戰を行ふに非ずして、敵の戰地に入つて臂を交へて、無產階級の權利を主張せんとするまでに到達した。その前途の必ずや無難ならざる可きを思ひ、勞働農民黨の健闘と發達とを、吾等は衷心より念願する。

大正十五年三月

◇ 進め社 ◇

勞働農民黨

宣言

普通選擧の實施は我國の政治に一大革新の機會をもたらした、それは單に少數特權階級の手に獨占せられたる政治を多數民衆の前に解放したのでなく、實に多年うつせる政治的經濟的弊害のために將た悲むべき一大破綻の暴露をも避け難さかを憂へしめたる我國民の社會生活に尊ぶべき合法的手段による改造の希望を與へ、健全なる國民生活の樹立のためにたゝかふべき新時代の黎光を豫期するものである、我等無產勞働階級のこの千載一遇の重大な使命に當面して與へられたる我等の國民的責務に對して近く耕作すると共に特に現代社會における我等の歷史的使命を自覺し、新たに獲得したる我等の參政權を最大限度まで有効に行使して國家の隆昌社會の改造、人類文化の向上進歩の爲に寄與するところがあらねばならぬ、これ實に我等無產階級が自ら救ふ最善の途であると共にまた實に我等の國民的義務である、思ふに現時の我國民生活において最も憂ふべき現象は貧富の懸隔が日增しに甚しくして國家の最大多數を占むる我等無產階級即ち勞働者小作農民を初め幾百萬の小農小商工業者下層俸給生活者等の生活が全く經濟的並に精神的安定を失ひつゝあることである、實に現在國民生活の基底を惱ましつゝある一大社會苦悶はこの經濟的精神的生活の不安動搖の内から醸成され延いては人類文化の前途にぬぐふべからざる弊害を漂はせつゝあるのである、かくの如きは資本主義經濟組織の發達により資本の蓄積集中に伴ふ必然の結果であつて、現在の全世界の共通する社會的一大疾患であると共に我等が敢て我が政治經濟の根本的改正、社會生活の改造の必要ありと主張する所以で、眞に國家を愛するもの民衆を思ふもの人類繁榮の文化と平和に光輝あらしめんことを思ひ願ふものあらば何人といへども我等と志を同うして一日も速に富、生產、分配の公正を確立せんことを希求しつゝあるを信ずるものである、されば我勞働農民黨立黨の根本精神は我無產階級の生活權の確立に大に力を併せ國民最大多數の生活の安定を圖ると共によつて以て國運の無窮の隆昌と社會文化の無限の向上發達に貢献せんことを期するものである、しかしてその手段としてはあくまで公明正大なる言論と合法的政治の運用即ち議會政策によつて邁進せんとするものである、近時我國の議會は腐敗墮落その極に達し議院の言論は毫末の權威なく醜態百出して面を向くるに忍びざるものがあるため國民の多數はいよ〳〵議會に對する信賴を失つてゐる　しかしながらかくの如きは全く特權階級のみによつて造られた既成政黨の罪であつて必ずしも議會制度そのものゝ罪ではない、されば普通選擧によつて新たに參政權を獲得したる無產階級は我等の純潔なる參政權をあくまで公明正大に行使してかつ廓清し眞に我光輝ある議政府たらしめることによつて必ず我黨の主張を貫徹せしむべきを信ずる無產階級解放の外、理論として將た行動として幾多の方策もあるが我等の主張するが如き議會政策はもとより唯一の道程ではない、しかしながら彼の徒らに外國の理論行動の直譯主義をすて三千年の深き歷史と特殊の文化を有する我國粹を鑑みざるが如き一部論者の急激なる主張の如きは我等の絕對に賛し能はざるものである、よつて我等はこゝに我黨の政策を定めて主義主張を天下に闡明すると共に廣く我が無產階級の同志諸君が直に來りて協力一致吾人の初志貫徹せんことを希望してやまざるものである。

大正十五年三月五日

勞働農民黨

綱領

一、我等は我國の國情に照して無產階級の政治的經濟的社會的解放實現を期す

二、我等は合法的手段により不公正なる土地、生產、販賣に關する制度の改革を期す

三、我等は特權階級の利害のみを代表する既成政黨を打破し議會の徹底的改選を期す

政策、政治

一、普通選擧の徹底（滿二十歲以上の男女の選擧被選擧）

二、無產階級運動抑壓の諸法令の改廢

三、殖民地における差別撤廢

四、軍備縮小と兵卒待遇の改善

五、戰死、廢兵、徵兵による本人並に家族の窮乏に對する國家扶養の實施

六、惡税の撤廢と財產利子税の創設

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七、日用品の消費税及び關税の改廢
八、國民外交の確立
九、經濟團結權罷業權團體契約權の確立
一〇、耕作權の確立
一一、最低賃銀の制定
一二、少年及婦人の夜間勞働鑛内勞働及び危險作業禁止
一三、八時間勞働制の確立
一四、工場法の改定

社會問題

一五、女子の公法上及び私法上における差別撤廢
一六、女子人身賣買の禁止
一七、女子教育及び職業に關する一切の制限撤廢
一八、失業疾病養老災害保險制度の制定
一九、冤罪不當檢束に對する國家の賠償
二〇、義務教育及び職業教育機關の一切の費用國庫支辨寄留金の確立

規約

第一章　名稱

第一條　本黨は勞働農民黨と稱す

第二章　目的

第二條　本黨は黨の綱領宣言及び決議を貫徹するを以て目的とす

第三章　構成

第三條　本黨は黨の綱領規約を遵守する個人を以て構成す

第四章　機關

第一節　黨の大會

第四條　黨の大會は黨の最高決議機關として大會、代議員、中央執行委員及び本部役員を以て構成す

第五條　黨の大會は每季一回中央執行委員會これを召集し議長及び副會長は大會において選擧す但し中央執行委員會黨員三分の一以上の要求ありたる時または緊急必要ありと認めたる時は臨時大會をなすことを得

第六條　黨の大會の代議員は地方支部より選出したるものとすその選出比率は別表の定むるところによる

第七條　黨の大會は代議員三分一以上出席するにあらざれば議することを得ず

第八條　黨大會の議事は出席代議員過半數を以て決し賛否同數なる時は議長これを決す

第九條　黨大會は中央執行委員長一名中央執行委員若干名選出するものとす

第二節　中央執行委員會

第十條　中央執行委員は次期大會に至るまで最高執行機關として大會に對し責任を負ふものとす

第十一條　中央執行委員は書記長及び會計一名を選出す

第十二條　中央執行委員會は必要に應じ組織、宣傳、教育、調査、產業、國際、財政、機關紙の編輯、議會の對策の部門を設くることを得

第十三條　各部門は中央執行委員會の統制を受くるものとす

第十四條　各部門は部長一名部員若干名を以て構成し、部長は中央委員會において任免し部員は中央執行委員長これを任免す

第五章　本部役員

第十五條　本部に左の役員を置く
一、中央執行委員長一名
二、書記長一名
三、會計一名
四、部長若干名

第十六條　中央執行委員長は黨を代表し黨務を統括す

第十七條　書記長は中央執行委員長を補佐し、黨務を處理す

第十八條　會計は黨の會計事務を處理す

第十九條　各部長は黨內部門の活動を統括す

第六章　地方支部

第一節　縣並に特別都市

支部聯合會

第二十條　各府縣または特別都市において二個以上の支部ある場合は支部聯合會を組織すべし

第二十一條　支部聯合會には左の機關を設くるものとす
一、大會
二、執行委員會

第二十二條　支部聯合會の大會代議員は支部より選出するものとす、その選出比率は別に定むるところによる

第二十三條　支部聯合會の規約は中央執行委員會の承認を得ることを要す

第二節　支部

第二十四條　支部は地理的區劃による黨員五十名以上を以て組織するものとす但し必要ある場合は逐次これを組織することを得

第二十五條　支部には左の機關を設くるものとす
一、決議機關
二、執行機關及び會計

第七章　黨費

第二十六條　黨費は黨員一名につき年額金六十錢とす

第二十七條　黨員納入の黨費は一切これを返還せず

第二十八條　黨費は本部及び地方支部に配分す

第二十九條　黨の經費豫算は中央執行委員會において原案を作成し、大會の協定を得るものとす

第三十條　黨經費の決算は大會の承認を得るを要す

第三十一條　黨機關紙の會計は獨立會計とす

第三十二條　黨は會計監査若干名を選き會計の監査を任す、會計監査は中央執行委員會これを選任す

第三十三條　會計年度は○月○日より翌年○月○日までとす

第八章　罰則

第三十四條　黨員にして左の一に該當するものは中央執行委員會または大會において除名することを得
一、黨の主義綱領に違反したるもの
二、黨の面目を破壞せんとしたるもの

第九章　付則

第三十五條　黨の規約及び綱領は黨大會出席代議員三分二以上の賛成を得るにあらざれば變更加除することを得ず

別表第一

黨大會出席代議員選出比率支部員三百名までは一名以上三百名未滿を增す每に一名

別表第二

支部聯台大會出席代議員選擧比率支部員五十名までは一名以上五十名未滿を增すごとに一名

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

智識階級と解放運動（一）

山政雄

資本主義の發達と共に著しく激增した所謂智識階級は無產階級運動及び社會革命——資本主義の直後に來たるべき——と如何なる關係を有するかを論ずる前に、先づ、智識階級とは何ぞやと云ふ一般的概念からはじめよう。

何れの資本主義國家に於いても國家を形成せる基本的階級はブルジョア階級とプロレタリア階級との二階級であつて、前者は搾取手段による剩餘價値即ち不勞所得を以つて生活をなすものであり、後者は勞働力による勞銀を以つて生活をなすものであるが『インテリゲンチャ』とは前者の不勞所得にもよらず、後者の勞働にもよらざる學問、智識、技能によつて生活をなすものである。即ち智識階級は不勞所得によらずして、智識、技能等の智的勞働によつて生活をなしてゐる點に於いてブルジョア階級と異り、智識、技能によるのみにして、勞働によらざる點に於いてプロレタリア階級と異つてゐるものである。

『インテリゲンチャ』と云ふ名稱は十九世紀の後半ロシアに於いて發生したものであつて、當時のロシアに於ける種々な階級即ち貴族、商人、勞働者、農民等の何れの階級にも屬してゐない階級を指した言葉である。彼等の多くは貴族階級の出身であるが貴族としての特權に與かる事の出來ない階級であつた。彼等は智識、技能を有してゐるが富財を有してゐない。而も彼等は勞働者でもなければ農民でもない、我が國に於いても智識階級問題は可なり論議され、而して今や彼等の失業問題は一つの重大なる社會問題となつてゐる。要するに『インテリゲンチャ』とは學問、智識、技能によつて生活する所のプロレタリアである。

されど彼等の多くはプロレタリアであるにも拘らず總括的に所謂ブルジョア的意識を持ち、支配觀念に因らはれてゐるが然し之れは彼等の環境及び智的能力の然らしむる所である。乍然彼等の中の先覺者は自己の階級の何れに屬するかを知る時には勢ひプロレタリア解放運動に投じて來る。從來の——恐らくは將來に於いても然るべき——解放運動の指導的理論は概ね、彼等によつて生み出された。そして大衆は或る程度迄彼等によつて指導されてきた。

乍然無產階級の陣營內には敵ふべからざる一脈の暗流が流れてゐる。指導する者と指導される者との間に溝渠が設けられてゐる。それは智識階級は勞働階級に鬪爭理論を與へ、而して之れを指導してゐる爲めに、往々にして勞働階級を無視するが如き行爲に出る場合がある故である。嘗つて各國の無產階級陣營內にあつた如く、我國に於いても數年前、智識階級排斥の聲が揚り種々な紛議を釀した事があつたが其後兩者間の交渉、關係は稍々圓滑に持續されてゐる。今日に於いてすら一部の人々の間には未だに排斥の聲を聞く事がある。が智識階級の社會運動へ入る事を拒否するのは明らかに誤りである。何となれば智識階級其れ自體は既にプロレタリアである。此の一事に依ても智識階級の社會運動へ投じ來たる事を否認する譯には行かない、殊に彼等が今日迄運動上に貢獻してきた効績は實に偉大なるものである。徹頭徹尾智識階級排斥の爲め聲を大にする者は深く此の點を考慮しなくてはならない。

勿論智識階級にして勞働階級を無視し、指導者顏をなし、高踏的態度に出づるが如き事あらんか、我々は之れを斷々乎として排擊しなければならない。今日の無產政黨問題によつて若し勞働階級を踏臺とするが如き事があれば我々は之れが撲滅に努めなければならない。

社會革命に於いて智識階級は如何なる役割りを演ずべきであるか？其れは次號に於いて述べるであらう。

（未完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

病床言

◇

月の殆ど半ばを病床に暮す身となつた事は何よりも堪えがたい事である。八疊の書齋、障子破れ壁落ち、初春の風の寒き故に、襖を中折して手製の屏風を造つた。小森猛先生の揮毫を乞ふて、之に秋水の詩を書いて貰ふを得、陋屋には過ぎたるものの一つとなつた。

◇

去る二月某の日、稲田狂二氏來訪せられ共に早春の江の島に遊んだ。日本の山水の遂ひに油繪の濃厚に堪えざるを感じ、日本畫の清淡の妙を懐しく思つた。但し岩本樓の床の間の軸の俗惡、窓外の風光にそはざること甚しかつた。

◇

進め社の同人會議の夜、發熱、度高くして、之に臨めなかつたが、其の翌日早く、社の岡本一郎君、病氣見舞とて肝油一瓶を提へ訪はれたは嬉しかつた。肝油は胃の加減で未だ多く用ひずに居る。

◇

進め社の四隣の壁を赤色紙を以つて張り詰めたのは、その意圖する處は快であるが、視神系の爲めには宜しくない。伊太利のダヌンツイオは活動の室は赤色に染めたけれど、靜思の室は青色を用ひた。我が進め社に、靜思の部屋無さは新人の堪えられぬ處ではないか。稲田氏の一考を乞ひたい。(岡)

四月馬鹿

◇

四月が來た。四月一日は「四月馬鹿」の日だ。うんと癪に障る事があるから、四月一日には一つ馬鹿氣た馬鹿を吐いてやろうか。

◇

櫻花爛漫と云ふ語を、お世辭にでもいい度い所だが、今年の春は滅切り寒くて、櫻花も爛漫どころか頗る緩慢だ。いつその事序に花なんか咲くな。

◇

そのかはり銀座界隈は歐化亂慢だ。ナトウ風情には、一寸コーヒー一杯呑みたくも、懐中を覗いてからでないと、コーヒーの匂嗅ぐにも、チツカナ吃驚。

◇

ある易の本を開けたら、大正十五年の條下に次のやうな豫言がある。面白いから一寸轉載すると――

遊惰淫風益々盛んとなり、議會混亂に次で解散し、普選の實行内閣の崩壞を見、懸案大局を誤り外交の失敗。而して新舊思想の衝突、階級闘爭は激しくなり、思想變化して、革命的氣運は漸次濃厚となり、上流に不祥事多し――だとさ。

◇

それで××は何年に來るだらうかと、その本を調べて見たらチヤンと豫言してある。それに依ると大正十九年だとある。そして大正廿年は新政第一年の樹立だとある。もつとも大正十六年以後十九年迄が、××の第一期なのださうだ。

もつと面白い豫言が澤山にあるが、此處には發禁だから書けぬ。然し僕の宅へ聞きに來るなら教へる。と言ふ語を眞に受けて來たら、それこそホントの「四月馬鹿」(山川)

肉彈!!

◇

春が來た、ブルの青年共は酒よ花よと浮かれ騷いで短かき青春の日の享樂を限りなく惜しんで居る、されど吾々撰ばれたる無産青年の任務は誠に重し、獄屋に伸吟する若き同志の苦しみを想え、亦××の日未だ遠きこの日本の現狀を考へよ。吾々は春風駘蕩たるこの時季に徒らにブル共の享樂に憬れ、騷ぐのを止めよ、而して吾々無産青年の双肩に負はされたるこの××××××××××××、徒らの内紛、軋轢に終局の目的を忘れて來る可き日の大團結の任務を怠るな。

◇

撰ばれたる無産青年の少數者よ、覇氣に燃えよ、前途に横る凡ゆる××を××せよ、來る可き××××××××××××××××××××にまつのみ。

◇

昨夏より大阪逆め社に在つたが今般東京進め社へ轉じた。今後の東京進め社は肉彈的に大に武裝される筈右一寸潜越乍ら自己紹介して挨拶に替えます。(猪久能)

僕等の信條

◇

僕等青年には、潑溂とした生きようとする欲求が切である。よりよく生きようとする所に、僕等の叛逆心が躍動する。

しかし、現實は僕等を排撃して、斷固とした拒絶の柵をもつて敵對してゐる。僕等の血汐の湧き迸る所、そこに、あらゆる蹂躙が殺到して、燃ゆる欲求は無慘にも阻害されてゐる。

◇

僕等の現實の障碍物は、彼等ブルジョアであり、一切のものである。彼等には、偉大なる權力と、完備した××機關がある。僕等には、眞に生きようとするために、熱烈な欲求に衝動するものである。で、僕等の欲求は、不絶のものであり永劫のものである。この不撓の××は、××××××××××、淬礪された秋×××××××××。その×××××××、僕等の×××××××る。

◇

叛逆者は常に孤立である。しかし、僕はこの孤立を悲しむものでない。僕等の行動は、僕等自身のものであつて、自己を離れて存在しない。

◇

だから、僕等は、×××××××××××××とするものでない。僕等は、×××××××××××××ものである。(岡本)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め・リーフレット

貧乏の原因

(一)貧乏は頭惱の問題か

大抵の人はこの世の中に貧富の差のあるのを見て、次の如くに解釋してゐるやうである。曰はく、彼の人は頭腦が秀でてゐるから、それであの樣な金持になることが出來たのだ。彼の男は頭が鈍くて、つまらぬ人間だから、それで一生涯を貧乏で苦しまなければならぬのだ。——然し何故に頭が惡いのか、また惡るくなつたのか、と云ふ質問は誰もがしないやうである。尚それ以上に、果して貧富の差が頭腦の優劣ばかりに依つて決定されるものだらうか、と疑問を提出した者はないやうである。

若しも金持は本來から利巧で傑く、貧乏人は生れつき馬鹿であるものなら、之れは宿命的に人間に課せられた、恩惠又は刑罰とも見做されなければならぬもので、さうなると、この世の中の貧乏と云ふものは、人間の力を以てしては、如何とも成し得られないもので、全世界の人類の九割九分を占める、貧乏人は未來永劫に、明るい喜びに接する時機はないと云ふことになる。之れは勞働階級にとつて、重大な問題である。果して今日の金持が悉く利巧な人間ばかりで、貧乏人は一人殘らず、つまらない愚かな者ばかりだらうか。一應この事に就ては、充分に檢べて見なければならぬ。

(二)金持と貧乏人の子供

其處で手近かな例として、次のやうな場合から調べて行くとしやう。

即ち茲に銀行主の子供百人と工場主の子供百人と、鑛山主の子供百人と、つまり資本家(金持)の子供三百人と、大工の子供百人と、職工の子供百人と、鑛夫の子供百人と、つまり勞働者(貧乏人)の子供三百人とを、學齡に達した時に連れて來て、同じ樣な食物と衣物と住居とを與へてそれから同じ放課後の自由をも與へて置いて、小學校から中學校、高等學校から大學へと通はせて、その成績を仔細に調べて見たなら、其處に如何なる結果が現れて來るだらうか。

その結果は管々しく、此處に說く迄もなく、諸君が日常よく見聞してゐる事實が、明瞭に何ものかを諸君に告げてゐるではないか。即ち、粗食をし汚ない衣服を着て、それに碌々勉强の時間さへもない貧乏人の子供が滋養分のある食物を腹一杯に食べ、暖かい衣服を着て、あり餘る程の勉强時間を持つた金持の子供と競爭して、小學校や中學校で彼等の成績を屢々示して居ると云ふ事實である。これだけの事實に基いて見ても、前に述べた通りに、資本家の子供三百人と勞働者の子供三百人とを、同じ待遇で育て、教育したならば、金持の子供も貧乏人の子供も、先天的に頭腦に缺陷のある白痴とか低能兒でない限りは、頭腦の差には優劣がない事を示すのは明かである。

(三)藤田男爵と大學教授の頭

以上の例だけでも、貧乏人は頭腦が惡くて、人間がつまらないから、常に貧乏をするのだと云ふ理由は、根本から破れて終つた譯だが、それでも尚、反對する人もあるだらうから、今一つ例を擧げて調べて見ることゝする。

男爵藤田平太郎氏と云へば、藤田組の大黑柱で、先代の傳三郎氏は明治維新の混亂期に際して奮鬪し、今日の藤田組の基礎を据えた傑物で、其間には有名な贋札事件や、西南戰爭の時の人夫賣込み等の問題も惹き起した人物だが、その息子の平太郎氏が今日の生活振りを、某新聞社の秘密調査に因つて發表すると、次の如き面白い内容を吾々の前に展開して吳れる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（四）藤田男爵邸一ケ月の生活費概算書

米、四千圓
酒、三百圓
醤油、百六十圓
薪、炭、五百圓
魚、肉、五百圓
野菜、二百圓
電燈料、三百圓餘
其他諸拂、三千圓
計　八千九百六拾圓

これで見るとその生活費は、大學教授の平均四十五人分に當る俸給に匹敵する。それで例の最初の命題の、頭腦がいゝから金持になり、頭腦が惡いから貧乏人になると云ふ、この議論で說明すると、藤田平太郎氏一人の頭腦は、日本の大學教授四十五人の頭腦を集めたよりも、尚ほ傑ぐれた頭腦の所有者だと云ふことになる。

然しこの結論を誰でも、尤もな事だと首肯くことか出來るだらうか。藤田平太郎氏の頭腦が大學教授四十五人の頭腦を集めたよりも傑出してゐると云はれて、諸君は直ちにそれに贊成出來るかどうか。若し出來ないとすれば、玆でも頭がいゝから金持になり、つまらない人間から貧乏になると云ふ理窟は、根本から打破れて終つた譯である。更らに今一つの例で調べて見やう。

（五）貧乏の原因の發見

これは米國の例であるが、世界一の資本主義の國である米國では、今から七十六年前（と云ふと日本の明治維新前十年程になるが）から較べると、今日では、人口數は約三倍の增加であるにも拘らず、其の巨萬長者の財產の總計は約六千倍に增加してゐる。即ち人口の增加數よりも、金の殖えた方が二千倍も多いと云ふのである。すると人間の頭腦の進步が、七十六年間の人口增加率よりも二千倍の速力で、進步發達したと云ふ結論に達しなければならぬ。

また米國革命戰爭の時の、最大富豪の財產と、今日の最大富豪との財產を比較すると、今日の最大富豪は、米國革命戰當時の最大富豪よりも二十五倍以上五十倍迄の財產を所有してゐるのである。すると昔の富豪よりも今日の富豪は、二十五倍乃至五十倍の傑ぐれた頭腦を持つてゐると云はなければならぬが、そんな無茶な亂暴な議論が、果して承認し得られるかどうか。

其處で問題を吾々は改めて、今一度最初から調べなほさなければならぬ。ブルジョア達の從來說いて來てゐる、頭腦がいゝから金持になれて、頭腦が惡るく愚か者だから生涯貧乏で居なければならぬ、と云ふ理窟は前記三つの例だけでも、根本的に破れて終つた。すると貧乏と金持になる相異の原因は、何か他の所になければならぬ。それが何であるかと云ふことは、簡單に說明すれば次の如くに言ひ得られる。

即ち貧乏になる原因は頭腦が惡いとか、つまらない人間であるとか、愚かな怠け者だとかと云ふのが原因ではなくて、頭腦がよくとも、利巧で傑ぐれた人間であつても、今日の社會組織では、生產機關（即ち品物になる材料と、品物を造る機械）を持たない貧乏人は、如何に愚かな人間でも笑ふ可き頭腦の持主であつても、それが生產機關を所有してゐる限り、その人間に使はれなければ生きて行く譯には行かない。貧乏の原因はこの生產機關を所有してゐる家に、生れたか生れなかつたかにある。即ち金持の子供は最初から五十步も百步も先に居て、貧乏人の子供と競走をすると同じく、利益を背負つてこの世の勝負をしてゐるのである。それは決してブルジョア學者や敎育家の說く如き、頭腦の問頭ではないのである。

可愛いゝ子供の數百萬數千萬が、貧乏である爲めに、花も咲かず實も結ばず、立派な才能を持ちながらも、空しく死んで行く、この社會の事實を如何にしたならば、解決し得られるかを問題としなければならぬのである。

（完）

『注文』

組織を改めリーダーを改め、更に改めて、解放戰線上に雄躍せんとしつゝある中部農民組合の新組合長、中澤辨次郎氏は三月廿一日の報知新聞に於て、既成組合の『ダラ幹』に對して憤滿をモラシてゐた。吾人は中澤氏にそのコツを忘れないでゐてもらひたい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大庭柯公氏の全集豫約は多大の好評裡に約十萬を出版し更らに民衆版を發行したが之れ亦殆ど全部賣切れ目下殘本整理中である。柯公氏は世人の知る如く日本社會主義運動に貢獻せし所少からず當時に於ける代表的指導者であつたが先年入露し不幸にして虐殺の悲運に遭ひし日本有數の社會主義評論家である。

柯公全集整理

題目	殘本數	元價	整理價格	送料
隨筆 揃二卷 頁數 八百七十六頁	貳百部	金六圓	金貳圓五拾錢	金三十二錢
紀行 水に陸に 頁數 三百二十四頁	八十冊	金參圓	金壹圓五拾錢	金拾四錢
評傳 血と涙 頁數 四百二十四頁	八十冊	金參圓	金壹圓五拾錢	金拾四錢
柯公全集 全五卷 頁數 貳千一百頁	參拾部	金拾五圓	金八圓	金六拾錢
露國及露人研究 頁數 四百九十八頁	貳百七十冊	金四圓	金貳圓	金拾八錢

以上民衆版並製 豫約本に非ず

申込所 東京市麹町區下六番町二七 **番町書院** 振替東京七〇五一三

電車ストライキ

桑田次郎氏編述

改訂增補版 約八百頁 定價貳圓 送料二十錢

本書は昨年大阪に於ける大阪市電**ストライキ**を中心として、其他最近京阪地方に勃發したる交通勞働に關する爭議及び罷業の明細なる眞相及顚末の記錄書である。內容は前後二編と分ち、前編には一々其の爭議の詳細なる顚末をのべ、後編は主張批判感想錄として、組合代表者、社會運動家、社會主義學者、五十餘氏の痛烈なる批判、感想の檄文が連ねてある。最近日本に於ける交通勞働の內容と其の狀勢を知らんとする者は讀め!!!而して彼の**ストライキ**破りとして問題とされた學生の反動運動の眞相等、涙と共に敗戰の憂目を忍んだ血に塗れたる階級戰の其の事實を知らんとする者は讀め!(進め社に於ても取次販賣します)

發行所 東京市京橋區銀座弓町一番地 **クラルテ社**

金銀 白金

東京市神田區松田町 **徳力本店**

消化と毒けし 兩博士方劑 懷中良藥 **仁丹**

優等 清酒 **さはのつる**

ラヂオ
寫眞器及材料

ベルリン堂

東京市京橋區銀座三丁目十六番地
（アオキ商店ヨコ）
電話銀座三九〇五番

清新な趣味と實用とに綾なす
内外のあらゆる流行品の豊富な

三越呉服店

大阪市高麗橋

地方よりの御注文は御手紙にて
通信販賣部宛に御願ひ申ます

松屋の夏の大賣出し

五月一日より

◇夏の殿方装身具陳列（四階）
◇夏の婦人服子供服賣出し（四階）
◇新輸入洋服地陳列（四階）

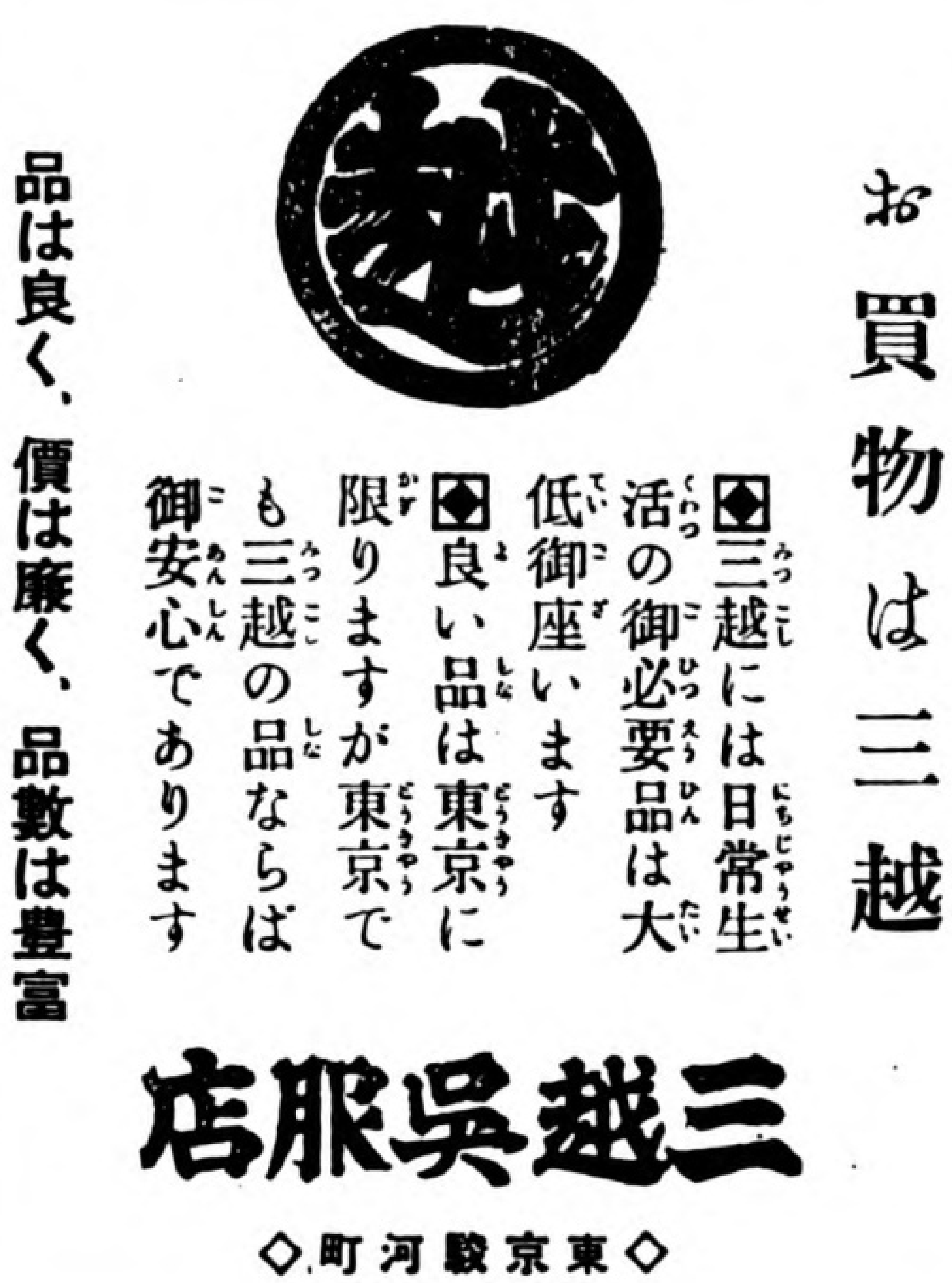
染織松美會
流行界のシンボルを以て自負致す
會員努力の發表で御座います
五月一日より七日まで（二階）

東京銀座
松屋呉服店

幸福と平和の殿堂
御申越次第保険案内進呈

日清生命

本社 東京丸之内
社長 池田龍一
代表電話牛込五千百〇六番
振替口座東京九千三百十番
支社 東京・關東・大阪・京都・福岡・名古屋
仙臺・廣島・金澤・札幌・京城・臺北



大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年四月一日發行
毎月一回一日發行
定價 一部十錢(税五厘) 半年六十錢 一年一圓(税共)
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市神田區猿樂町二ノ一(振替東京六九八五三) 進め社本部
發行兼編輯印刷人 渡邊理治
大阪市東淀川區上三國之行 大阪支局